

第 76 回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第 7 回総会

日 時：令和 8 年 1 月 23 日(金) 11:00～12:00
場 所：ANA クラウンプラザホテル松山 4 階
ダイヤモンドボールルーム

次 第

1 開 会

2 挨 捶

3 報告事項

- (1) 令和 7 年度の取組状況について 【資料 1】
- (2) 招待者へのおもてなしについて 【資料 2】

4 審議事項

- 【第 1 号議案】式典行事計画（案）について 【資料 3】
- 【第 2 号議案】実施計画（最終案）について 【資料 4-1, 4-2】

5 その他

- 今後の予定について 【資料 5】

<配布資料>

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・【資料 1】 令和 7 年度の取組状況について
- ・【資料 2】 招待者へのおもてなしについて
- ・【資料 3】 式典行事計画（案）について
- ・【資料 4-1】 実施計画の策定状況について
- ・【資料 4-2】 実施計画（最終案）について
- ・【資料 5】 第 76 回全国植樹祭愛媛県実行委員会（総会）の開催スケジュールについて
- ・【資料 6】 （参考資料）実行委員会会則（令和 7 年 4 月 1 日時点）

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

日時：令和8年1月23日（金）11:00～12:00

場所：ANAクラウンプラザホテル松山

ダイヤモンドボールルーム

（敬称略）

番号	職名	機関・団体	役職	氏名	出欠状況			代理の場合のみ記載		座席番号
					出席	欠席	代理	代理者役職	代理者氏名	
1	会長	愛媛県	知事	中村 時広	○					-
2	副会長	愛媛県	副知事	菅 規行	○					-
3	副会長	愛媛県	副知事	濱里 要	○					-
4	副会長	愛媛県議会	議長	福羅 浩一	○					-
5	委員	林野庁四国森林管理局	局長	田中 晋太郎	○					A-7
6	委員	環境省中国四国地方環境事務所	所長	坂口 芳輝			○	四国事務所 松山自然保護官事務所 自然保護官	高辻 陽介	A-8
7	委員	国土交通省四国地方整備局	局長	豊口 佳之			○	松山河川国道事務所 長	齋島 洋伸	A-9
8	委員	愛媛県議会農林水産委員会	委員長	高山 康人	○					A-10
9	委員	愛媛県市長会	会長	管家 一夫			○	事務局長	武智 茂記	A-6
10	委員	愛媛県町村会	会長	高門 清彦	○					A-5
11	委員	松山市	市長	野志 克仁			○	参与	河合 洋二	A-4
12	委員	砥部町	町長	古谷 崇洋	○					A-3
13	委員	愛媛県市議会議長会	会長	原 俊司	○					A-2
14	委員	愛媛県町村議会議長会	会長	前田 省二	○					A-1
15	委員	愛媛大学	副学長	杉森 正敏		○				-
16	委員	松山大学	准教授	甲斐 朋香		○				B-3
17	委員	(公財)愛媛の森林基金	理事長	久保 圭一朗			○	事務局長	若田 宗孝	B-6
18	委員	愛媛県森林組合連合会	代表理事会長	高山 康人			○	代表理事専務	芝 芳亜	B-7
19	委員	(一社)愛媛県木材協会	会長	成瀬 昭親	○					B-8
20	委員	愛媛県山林種苗農業協同組合	代表理事組合長	成瀬 要三	○					B-9
21	委員	愛媛県林業研究グループ連絡協議会	会長	菊池 俊一郎	○					B-10
22	委員	愛媛県森林土木協会	会長	兵頭 誠亀			○	専務理事	西浦 政隆	B-11
23	委員	(公財)えひめ農林漁業振興機構	理事長	高橋 正浩	○					B-12
24	委員	えひめ森林ボランティア連絡協議会	会長	笠松 浩樹	○					B-13
25	委員	緑の少年団愛媛県連盟	会長	山本 浅幸	○					B-14
26	委員	愛媛県林業経営者協会	会長	増田 清		○				-
27	委員	愛媛県農業協同組合中央会	代表理事会長	山内 謙治			○	参事	伊藤 浩史	B-4
28	委員	愛媛県漁業協同組合	代表理事組合長	平井 義則			○	常務理事	山崎 亮	B-5
29	委員	愛媛県商工会議所連合会	会頭	三好 賢治			○	松山商工会議所 総合企画部 専門指導室長	島田 嘉代	C-6
30	委員	愛媛県商工会連合会	会長	渡部 英志	○					C-7
31	委員	愛媛県中小企業団体中央会	会長	服部 正			○	専務理事	馬越 史朗	C-8
32	委員	愛媛経済同友会	代表幹事	大西 康司	○					C-9
33	委員	愛媛経済同友会	代表幹事	山口 普	-	-	-			-
34	委員	愛媛県経営者協会	会長	三原 英人			○	専務理事	八塚 洋	C-10
35	委員	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	宮崎 光彦			○	事務局長	藤永 須正	C-2
36	委員	愛媛ホテル協会	会長	河野 治広	○					C-3
37	委員	(一社)愛媛県観光物産協会	会長	中村 時広			○	専務理事	金子 浩一	C-4
38	委員	(一社)愛媛県旅行業協会	会長	清水 一郎			○	事務局長	坂田 明則	C-5
39	委員	(一社)愛媛県バス協会	会長	清水 一郎			○	専務理事	松本 真一	C-13
40	委員	四国旅客鉄道(株)	愛媛企画部長	窪 仁志	○					C-11
41	委員	伊予鉄道(株)	代表取締役社長	清水 一郎			○	取締役鉄道部長	浦戸 亮治	C-12
42	委員	(一社)愛媛県ハイヤー・タクシー協会	会長	渡部 光男			○	専務理事	谷口 政賀津	C-14
43	委員	(一社)愛媛県トラック協会	会長	御手洗 安		○				-
44	委員	(一社)愛媛県建設業協会	会長	浅田 春雄	○					D-11
45	委員	(公社)愛媛県建築士会	会長	尾藤 淳一			○	事務局長	池内 誠喜	D-12
46	委員	(一社)愛媛県建築士事務所協会	会長	鳥谷 陽一郎	○					D-13

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

日時：令和8年1月23日（金）11:00～12:00
場所：ANAクラウンプラザホテル松山
ダイヤモンドホールルーム

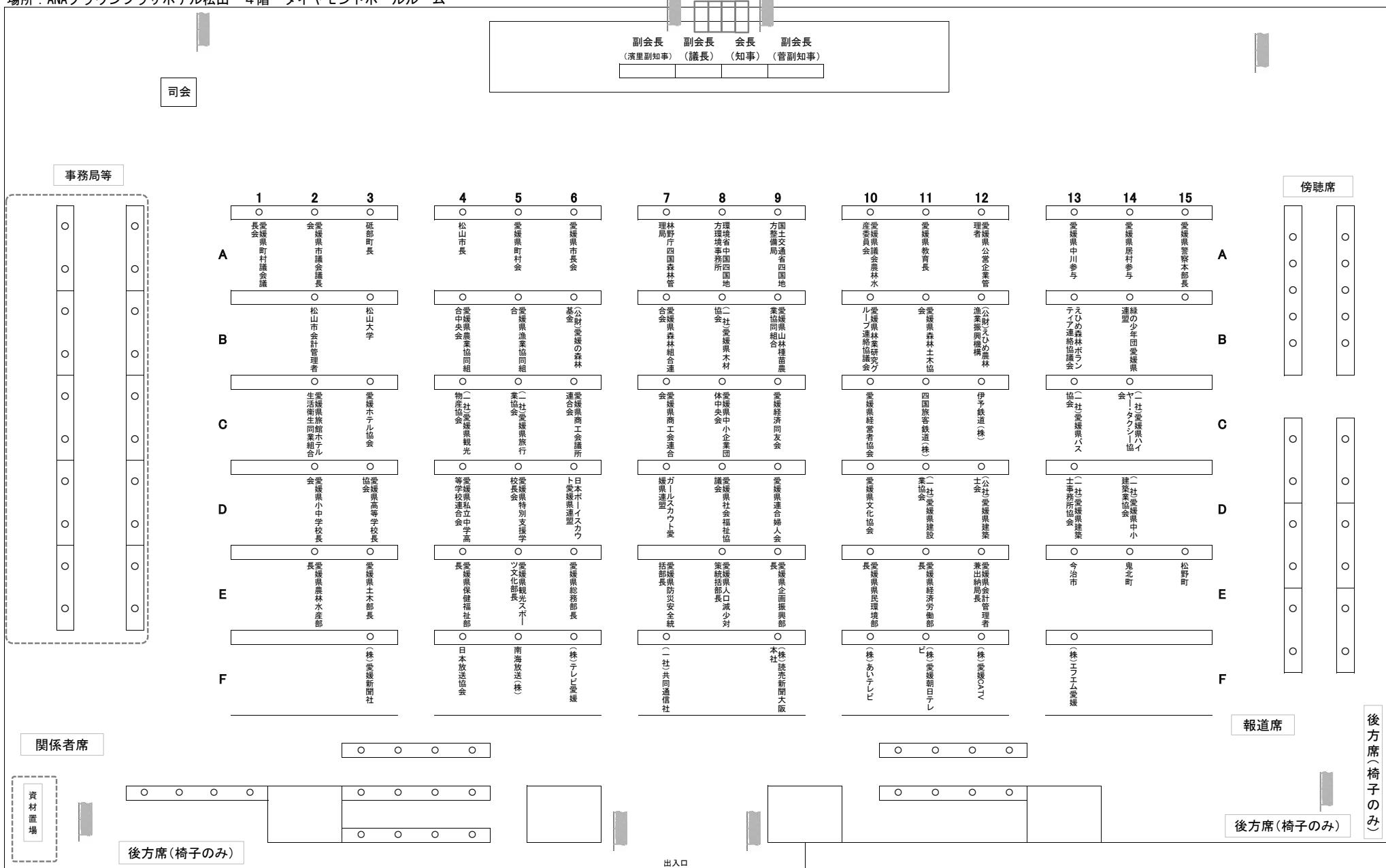
(敬称略)

番号	職名	機関・団体	役職	氏名	出欠状況			代理の場合のみ記載		座席番号
					出席	欠席	代理	代理人役職	代理人氏名	
47	委員	(一社)愛媛県中小建築業協会	会長	佐々木 敬史	○					D-14
48	委員	愛媛県小中学校長会	会長	客野 英司	○					D-2
49	委員	愛媛県高等学校校長協会	会長	沖田 浩史	○					D-3
50	委員	愛媛県私立中学高等学校連合会	会長	中村 道郎	○					D-4
51	委員	愛媛県特別支援学校校長会	会長	松本 幸恵	○					D-5
52	委員	日本ボイスカウト愛媛県連盟	連盟長	龍田 純孝			○	理事長	柏原 勝利	D-6
53	委員	ガールスカウト愛媛県連盟	連盟長	田窪 鏡子			○	監事・顧問	大野 誠子	D-7
54	委員	愛媛県文化協会	会長	市村 公子	○					D-10
55	委員	(福)愛媛県社会福祉協議会	会長	本田 元広	○					D-8
56	委員	愛媛県連合婦人会	会長	三好 康子		○				D-9
57	委員	愛媛県	教育長	高岡 哲也	○					A-11
58	委員	愛媛県	公営企業管理者	東野 政隆	○					A-12
59	委員	愛媛県	参与	中川 逸朗	○					A-13
60	委員	愛媛県	参与	末永 洋一		○				-
61	委員	愛媛県	参与	居村 大作	○					A-14
62	委員	愛媛県	営業本部長	久保田 英和		○				-
63	委員	愛媛県	防災安全統括部長	松田 交志	○					E-7
64	委員	愛媛県	人口減少対策統括部長	森居 基修	○					E-8
65	委員	愛媛県	総務部長	目見田 貴彦	○					E-6
66	委員	愛媛県	企画振興部長	山名 富士	○					E-9
67	委員	愛媛県	観光スポーツ文化部長	久保田 晶	○					E-5
68	委員	愛媛県	県民環境部長	客本 宗嗣	○					E-10
69	委員	愛媛県	保健福祉部長	岡部 直	○					E-4
70	委員	愛媛県	経済労働部長	池田 和	○					E-11
71	委員	愛媛県	農林水産部長	久保 圭一朗	○					E-2
72	委員	愛媛県	土木部長	橋本 博史	○					E-3
73	委員	愛媛県警察本部	本部長	近藤 裕行	○					A-15
74	監事	愛媛県	会計管理者兼出納局長	大内 康夫	○					E-12
75	監事	松山市	会計管理者	黒田 憲	○					B-2
76	参与	(株)愛媛新聞社	代表取締役会長	土居 英雄	○					F-3
77	参与	日本放送協会	松山放送局長	田中 誠一	○					F-4
78	参与	南海放送(株)	代表取締役社長	大西 康司	-	-	-			F-5
79	参与	(株)テレビ愛媛	代表取締役社長	西岡 征治		○	常務取締役		岩城 仁	F-6
80	参与	(一社)共同通信社	松山支局長	羽柴 康人	○					F-7
81	参与	(株)時事通信社	松山支局長	寺尾 貴之		○				-
82	参与	(株)朝日新聞社	松山総局長	広島 敦史		○				-
83	参与	(株)毎日新聞社	松山支局長	花岡 洋二		○				-
84	参与	(株)読売新聞大阪本社	松山支局長	澤本 浩二	○					F-9
85	参与	(株)日本経済新聞社	松山支局長	大林 卓		○				-
86	参与	(株)産経新聞社	松山支局長	和田 基宏		○				-
87	参与	(株)あいテレビ	代表取締役社長	左納 和宜	○					F-10
88	参与	(株)愛媛朝日テレビ	代表取締役社長	井上 隆史	○					F-11
89	参与	(株)愛媛CATV	代表取締役社長	宮内 隆		○	執行役員 業務管理局長	瀧幸 晋也		F-12
90	参与	(株)エフエム愛媛	代表取締役社長	倉渕 秀俊		○	取締役総務部長 兼放送部長		戸嶋 了一	F-13
91	オブザーバー	今治市	市長	徳永 繁樹		○	農林水産課 主幹	鴨川 寛明		E-13
92	オブザーバー	鬼北町	町長	兵頭 誠亀		○	農林課長	奥藤 幸利		E-14
93	オブザーバー	松野町	町長	坂本 浩		○	農林振興課長	中井 和彦		E-15

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第7回総会 配席図

日時：令和8年1月23日（金）

場所：ANAクラウンプラザホテル松山 4階 ダイヤモンドボールルーム



令和 7 年度の取組状況について

1 会議の開催

(1) 総会

第 6 回総会の開催（書面開催）

- ・開催日 （開催通知日）令和 7 年 7 月 23 日（水）
（結果通知日）令和 7 年 8 月 4 日（月）
- ・内 容 【第 1 号議案】令和 6 年度収支決算（案）について
【第 2 号議案】令和 7 年度収支補正予算（案）について

(2) 幹事会

第 5 回幹事会の開催（書面開催）

- ・開催日 （開催通知日）令和 7 年 7 月 15 日（火）
（結果通知日）令和 7 年 7 月 23 日（水）
- ・内 容 第 6 回総会に付議する事項の事前審議

(3) 専門委員会

①式典専門委員会

第 4 回会議 令和 7 年 7 月 7 日（月）

- 議 事
- ・演出構成案について
 - ・式典出演者の選定について
 - ・実施計画（素案）に記載する式典行事計画について

第 5 回会議 令和 7 年 11 月 18 日（火）

- 議 事
- ・式典行事の演出構成案（最終案）について
 - ・式典出演者の選定について
 - ・実施計画（最終案）に記載する式典行事計画について
 - ・会長への報告について

（i）音楽部会

第 2 回会議 令和 7 年 6 月 26 日（木）

- 議 事
- ・出演団体（案）について
 - ・指揮者・指導者（案）について
 - ・演奏曲目の選定について

第 3 回会議 令和 7 年 9 月 18 日（木）

- 議 事
- ・荒天時等の対応について
 - ・練習、指導計画について

②愛顔のえひめ魅力発信専門委員会

第 2 回会議 令和 7 年 10 月 10 日（金）

- 議 事
- ・大会記念品（県提供分）の選定について（9/8 先行して書面審議）
 - ・おもてなし広場について
 - ・エクスカーション（視察旅行）について
 - ・おもてなし弁当部会の審議結果及び試食

(i) おもてなし弁当部会

第2回会議 令和7年6月12日(木)

議事・弁当メニュー候補の選定について

第3回会議 令和7年9月17日(水)

議事・第2回部会提案メニューに対する意見について

- ・メニュー名について
- ・お品書きへの記載内容について
- ・試食

2 大会開催日の決定

令和7年8月6日(水) 開催の(公社)国土緑化推進機構の理事会において、大会開催日が令和8年5月17日(日)と決定された。

3 式典行事に出演する主要キャストの決定



<総合司会>

(全体進行役)

武内 陶子 さん



<ストーリーテラー>

(式典アトラクション進行役)

草彅 剛 さん



<国歌独唱>

石丸 幹二 さん

4 大会への一般参加者の募集

県内在住者を対象に一般参加者の公募を実施した。現在、抽選作業を行っており、2月中に当選者へ通知予定。

- 募集期間 令和7年11月21日(金)～令和7年12月12日(金)
- 募集人数 約350人
- 応募者数 3,599人

5 大会テーマソングの制作・発表

「愛のくに」であり「言葉の文化」が豊富な本県ならではの取組である「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」で県民から寄せられた『愛レター』をもとに大会テーマソングを制作し、令和7年6月の第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」で発表した。

- アーティスト LONGMAN
- 楽曲名 Seeds of Tomorrow
- 作詞・作曲 HIROYA HIRAI



6 お野立所新築工事に係る請負業者の決定

県産 CLT を使用した「お野立所」を施工するため「お野立所新築工事業者選定等検討会」で、入札参加条件等を設定し、一般競争入札で請負業者を決定した。

- 公 告 令和 7 年 10 月 2 日（木）
- 開 札 令和 7 年 10 月 21 日（火）
- 落札事業者 株式会社大江工務

7 大阪・関西万博との連携事業

（1）「大屋根リング」CLT の再利用

大屋根リングの屋根材（歩道面）に使用された CLT の約 8 割が本県産であるため、万博協会による再利用先の公募へ応募し、CLT パネル（18 枚）の無償譲渡が決定した。

なお、譲渡される CLT は、式典会場整備で活用する。

（2）「住友館」の植林体験苗木の活用

住友グループによる「住友館」で、子どもたちが植林体験で使用したヒノキ苗木の一部（200 本）を無償で譲り受けることが決定した。

なお、譲渡される苗木は、大会後の第 76 回全国植樹祭メモリアル植樹で活用する。

8 久谷ふれあい林（植樹会場）に係る伐採整備の実施

昭和 41 年の前回大会で久谷ふれあい林に植樹され、利用期を迎えているスギ・ヒノキを伐採し、伐採した木材を、式典会場のベンチや飾花のプランターカバーとして活用することで、森林資源の循環利用の取組を発信することとしている。



伐採整備の様子



伐採後の久谷ふれあい林



木製ベンチ



木製プランターカバー

9 サテライト会場(えひめ森林公園)に係る委託業者の選定

公募型プロポーザルにより、企画案を募集し、審査会で選考した結果、以下のとおり決定した。

- 募集期間 令和7年8月13日（水）～令和8年9月16日（火）
- 審査会 令和7年9月17日（水）～令和7年9月26日（金）
- 選定事業者 伊予鉄総合企画株式会社

10 機運醸成の活動

（1）第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」の開催

「県植樹祭」に併せて、開催1年前の記念イベントを開催した。

- 日 時 令和7年6月22日（日）10：30～12：00
- 場 所 国立大洲青少年交流の家（大洲市）
- 主 催 県実行委員会、（公財）愛媛の森林基金、県、大洲市
- 内 容
 - ・大会ポスター原画作者への表彰状贈呈
〔受賞者：白石 暖乃さん〕※応募時、県立松山南高等学校3年
 - ・大会テーマソング発表
 - ・ぐるっ to 植樹祭えひめ出発式 等
- 来場者数 約1,200人（式典招待者 200人、一般来場者 1,000人）



イベントの様子

(2) 第76回全国植樹祭 200日前記念「えひめ山の日の集い」の開催

「えひめ山の日の集い」に併せて、開催200日前の記念イベントを開催した。

- 日 時 令和7年10月25日（土）11：00～15：45
- 場 所 エミフルMASAKI（松前町）・えひめ森林公園（伊予市）
- 主 催 県、（公財）愛媛の森林基金、県実行委員会
- 内 容 • カウントダウンボードのお披露目
〔制作校：県立松山工業高等学校、県立上浮穴高等学校〕
• 苗木のスクールステイ参加校生徒からの愛レター（体験発表等）
〔発表校：松前町立松前中学校〕
• ぐるっ to 植樹祭えひめ引渡式 等
- 来場者数 1,445人（式典招待者23人、一般来場者1,422人（※））

※エミフルMASAKI：1,037人、えひめ森林公園：385人



エミフルMASAKIの様子



エミフルMASAKIの様子

えひめ森林公園の様子

(3) 第76回全国植樹祭 100日前記念イベントの開催【予定】

「まつやま農林水産まつり」のイベントに併催し、開催100日前の記念イベントを開催予定。

- 日 時 令和8年2月15日（日）
- 場 所 大街道商店街（松山市）
- 主 催 松山市、まつやま農林水産まつり実行委員会、県実行委員会
- 内 容 • ぐるっ to 植樹祭えひめ引渡式
• (学濟美学園済美高等学校（式典音楽隊参加校）による合唱 等
※式典音楽隊参加校の皆さんには、大会当日にも合唱いただきます。

(4) カウントダウンボードの製作・展示

県内の高校生が、県産木材を使用したカウントダウンボードの製作を行い、令和7年10月25日（土）に第76回全国植樹祭 200日前記念「えひめ山の日の集い」でお披露目した。

その後、①は「ぐるっ to 植樹祭えひめ」にあわせて県内を巡回展示し、②は県庁本館に展示した。

● 制作校 ①県立松山工業高等学校

②県立上浮穴高等学校



(5) ぐるっ to 植樹祭えひめ（「木製地球儀」の市町巡回展示・巡回植樹）の実施

令和7年5月25日（日）に埼玉県で開催された「第75回全国植樹祭」において、本県が引き継いだ大会シンボルの「木製地球儀」を、第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」を皮切りに、2月まで県内全市町を巡回展示とともに、記念植樹を行う。

【スケジュール】

No.	市町	巡回展示期間	No.	市町	巡回展示期間
1	大洲市	R7.6.22～R7.7.2	11	松前町	R7.10.25～R7.11.5
2	内子町	R7.7.4～R7.7.15	12	砥部町	R7.11.7～R7.11.17
3	八幡浜市	R7.7.17～R7.7.29	13	四国中央市	R7.11.19～R7.11.28
4	伊方町	R7.7.31～R7.8.8	14	新居浜市	R7.12.2～R7.12.10
5	西予市	R7.8.13～R7.8.21	15	西条市	R7.12.12～R7.12.22
6	鬼北町	R7.8.25～R7.9.3	16	今治市	R7.12.24～R8.1.8
7	松野町	R7.9.5～R7.9.17	17	上島町	R8.1.13～R8.1.21
8	宇和島市	R7.9.19～R7.9.30	18	東温市	R8.1.23～R8.2.2
9	愛南町	R7.10.2～R7.10.10	19	久万高原町	R8.2.4～R8.2.12
10	伊予市	R7.10.15～R7.10.23	20	松山市	R8.2.15～R8.2.27



埼玉県からの引継ぎの様子



出発式（大洲市）の様子

(6) 苗木のスクールステイの実施〔継続〕

県内の小中高生等が、大会の植樹行事等で使用する苗木を育成することにより、森林の整備や森林資源の循環利用への意識向上を図るとともに、大会の開催に向けた機運を醸成することを目的に実施した。

令和7年6月4日（水）にキックオフイベントとして苗木の受渡式を西予市立田之筋小学校で実施し、順次、各実施校へ苗木を配布した。

- 参加団体募集期間 令和7年2月14日（金）～令和7年4月18日（金）

- 事業内容 大会の植樹行事等に使用する苗木の育成体験

- 参加団体 75校 4,498人

（小学校：38校、中学校：21校、高等学校：16校）

※うち、緑の少年団を含む学校：51校



キックオフイベントの様子

(7) お手播き種子採取・全国植樹祭プレ植樹の実施

緑の少年団愛媛県連盟主催の「令和7年度愛媛県緑の少年団交流集会」において、お手播き種子の採取及び全国植樹祭のプレ植樹を行った。

- 日 時 令和7年9月27日（土）10:50～12:00

- 場 所 えひめ森林公园（伊予市）

- 主 催 県実行委員会、緑の少年団愛媛県連盟事務局

- 内 容 ・皇后陛下お手播き用「イロハモミジ」種子の採取

・昨年度、苗木のスクールステイで育成したクヌギ苗木の植樹

- 参加者数 緑の少年団員等の小中学生 35名



お手播き種子の採取



第76回全国植樹祭プレ植樹

(8) 木製プランターカバーの製作事業の実施

県内の子どもたちに大会への参加意識や森林資源の循環利用への理解を深めてもらうため、木工キットを配布し、式典会場で使用するプランターカバーの製作を実施した。

- 配布数量 350基

- 参加団体 46校 (R7.12末時点)

(小学校：22校、中学校：17校、高等学校：2校、中等教育学校：1校、特別支援学校：4校)



製作の様子

(9) 明日の森林へ贈る愛レタープロジェクトの実施 [継続]

広く県民から、森林への想いなどを綴ったメッセージ（愛レター）を募り、それを大会テーマソングや式典演出等あらゆる場面に活用する県民参加型プロジェクトを実施した。

- 募集内容 えひめの森林や木材、木から生まれるモノ（家、紙等）、森林・林業従事者等に対する想いや未来へのメッセージ、エピソード等
- 募集期間 令和6年9月29日（日）～令和7年12月31日（水）
- 応募方法 木製ポストへの投函、ツリーオブジェへの貼り付け、郵送、電子申請システム、メール
- 活用方法 愛レターは、愛媛らしさ溢れる大会とするため、大会テーマソング、式典演出、木製オブジェの作成等に活用
- 応募総数 10,293通 ※R6年度からの累計



取組の様子

(10) おうち de 植樹祭えひめ（全国植樹祭 PR ブース）の出展【継続】

県内のイベントに「おうち de 植樹祭えひめ（全国植樹祭 PR ブース）」を出展し、
 「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」による愛レター（メッセージ）の募集
 や、苗木及び木製ガチャガチャによるノベルティの配布を行う。

【出展実績】 9市町 16イベント

令和7年度出展状況

(単位：人、通、本)

時期			イベント	場所	来場者数	愛レター	苗木
4月	27日	(日)	いまばり緑化フェア2025×アースマルシェ	今治市	3,000	147	50
6月	5～9日	(木～月)	愛媛のめっちゃえ～けん (伊予鉄高島屋)	松山市	不明	561	100
	22日	日	第76回全国植樹祭 1年前記念 「令和7年度愛媛県植樹祭」	大洲市	1,200	209	50
7月	21日	(月・祝)	北条鹿島にぎわいまつり	松山市	5,000	55	22
8月	11日	(月・祝)	山の日のイベント 【雨天中止】	西予市	-	-	-
	24日	(日)	ワンツーツリーフォレスト	内子町	1,200	148	138
9月	7日	(日)	どてかぼちゃカーニバル	東温市	2,837	235	50
	28日	(日)	せとうちみなとマルシェ	今治市	7,000	157	50
10月	5日	(日)	内子町森林組合林業まつり	内子町	300	52	50
	12日	(日)	でちこんか2025「びっくり市」	鬼北町	22,000	235	100
	13日	(月・祝)	第15回大洲産業フェスタ2025	大洲市	14,000	222	50
	18～19日	(土～日)	第53回久万林業まつり	久万高原町	8,271	651	250
	25日	(土)	第76回全国植樹祭 200日前記念 「えひめ山の日の集い」	松前町	1,037	118	50
11月	2日	(土)	愛媛県総合科学博物館 開館記念イベント	新居浜市	1,455	218	50
	15～16日	(土～日)	えひめ・まつやま産業まつり 「すごいもの博2025」	松山市	147,000	1,444	300
	22日	(土)	とべもり+GO! GO! フェスタ	松山市	2,600	386	50
2月	15日	(日)	第76回全国植樹祭100日前記念イベント	松山市		未実施	
合 計 9市町16イベント					216,900	4,838	1,360

※イベント来場者数はイベント主催者への聞き取り等による



PR ブースの様子

(11) みんな de 植樹祭えひめ（第 76 回全国植樹祭応援事業）の実施【継続】

大会の趣旨に賛同して県内で開催される森林、林業、木材及び緑化に関連する事業を応援事業として認定し、第 76 回全国植樹祭を PR している。

- 対象期間 令和 6 年 10 月 18 日（金）～令和 8 年 10 月 31 日（土）
- 対象事業 69 件（R7. 12 末時点）※R6 年度からの累計



林業バスツアー



自然観察会

(12) 公式 HP・SNS の活用【継続】

- HP 閲覧数累計実績：227,260 ページビュー（R7. 12 末時点）※R6 年度からの累計



- SNS 実績（R7. 12 末時点）※R6 年度からの累計

種別	フォロワー数	投稿数
Instagram	1,462	167
X	749	167
Facebook	105	167
計	2,316	501



← 大会 150 日前である令和 7 年 12 月 18 日から、幅広い関係者の皆さんにご出演いただき、大会開催までのカウントダウンを実施中です。

(13) PR グッズの作成 [継続]

広報活動において配布する PR グッズを作成した。



(14) ポロシャツ及びウィンドブレーカーの制作 [継続]

ポロシャツ及びウィンドブレーカーを制作し、各市町や林業関係団体にも購入の呼びかけを行った。



(15) 懸垂幕・のぼり旗等の設置 [継続]

開催日が入った懸垂幕やのぼり旗等を県施設等に設置し、来庁者や県民等に広く周知した。



懸垂幕

のぼり旗

ポスター

卓上のぼり旗

(16) 「全国植樹祭だより “みきやんからの愛レター”」・PR マンガの作成【継続】

大会開催に向けた取組みなどを掲載した広報誌や PR マンガを作成し、県民等に広く周知する。

① 第2号



② 第3号



(17) マスメディアを活用した広報活動

① テレビ

広報ミニ番組「みきやんからの愛レター～第76回全国植樹祭えひめ2026～」（全8回）の放映

② 新聞

高校生記者による情報発信記事（全2回）・イベント広報の掲載

11 企業等協賛の募集

大会の趣旨にご賛同いただける企業・団体等の皆さまからの協賛の募集を実施した。

- 受付期間 令和6年8月6日（火）～令和8年3月31日（月）
- 種類 資金・物品・その他（役務の提供等による協賛）



全国植樹祭 PR 電車出発式（4/15）の様子



全国植樹祭 PR 車両引渡式（9/3）の様子

招待者へのおもてなしについて

全国植樹祭における「招待者へのおもてなし」に関する事項を検討するため、有識者による「愛顔のえひめ魅力発信専門委員会」を設置して、県産材を使用した大会記念品や、県産食材をふんだんに使用したおもてなし弁当の検討を行った。

【大会記念品】

1 選定基準

- ・本県の森林・林業をPRするとともに、森林資源の循環利用を全国に発信するため、県産材（特に前回大会が行われた久谷ふれあい林の木材）を使用した記念品とする。
- ・廃材等を活用するなど、環境に配慮し、SDGsの推進に寄与する記念品とする。
- ・他県の記念品にはない新しいアイデアで、記憶に残る記念品とする。
- ・日常的に使いやすく、持ち帰りやすい記念品とする。

2 選定について

- ・愛顔のえひめ魅力発信専門委員会 委員（6名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	松山東雲短期大学	教授	亀岡 恵子
委員	愛媛県観光物産協会	コーディネーター	森貞 千絵
	愛媛県森林組合連合会	事業部長	福住 隆雄
	koe+（コエ）	代表	岡田 恵美
	愛媛県企画振興部政策企画局 広報広聴課	課長	鵜久森 伸吾
	愛媛県農林水産部森林局	局長	仙波 元衛

3 選定結果

商品名	ヒノキハンドクリーム（木製ペンケース（媛ひのき）付き）		
画像	  		
選定ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・久谷ふれあい林のヒノキの枝葉から抽出したアロマオイルと、県産シルクを配合し、やさしい肌触りと爽やかな香りで木のぬくもりを感じる品。 ・本来廃棄される枝葉を使ったアップサイクル品で、環境にも配慮。 ・持ち帰りやすく、日常生活の中で使いやすい。 ・媛ひのきを使った木箱は、ペンケースとして長く使用していただける。 		

【おもてなし弁当】

1 作成方針

(1) 献立

- ・県産の食材や本県の郷土料理をふんだんに使用したものとする。
- ・内容、量ともに満足し、「また愛媛県に来て食べたい」と思っていただけるものとする。
- ・大量に調製するため、調理しやすいよう、統一的な規格に対応できる献立とする。
- ・視覚でも楽しめるよう、盛り付けや配色等の観点にも配慮したものとする。
- ・レシピの作成や栄養バランスの検討については、弁当部会を設置して検討する。

(2) パッケージ

- ・本県での全国植樹祭開催が印象に残るよう「大会ポスター原画」を使用する。
- ・PR 隊みきゃんを使用し、親しみやすいデザインとする。
- ・県産食材の PR のため、「愛媛産には、愛がある。」のロゴマークを使用する。

2 選定について

・愛顔のえひめ魅力発信専門委員会 委員（6名）

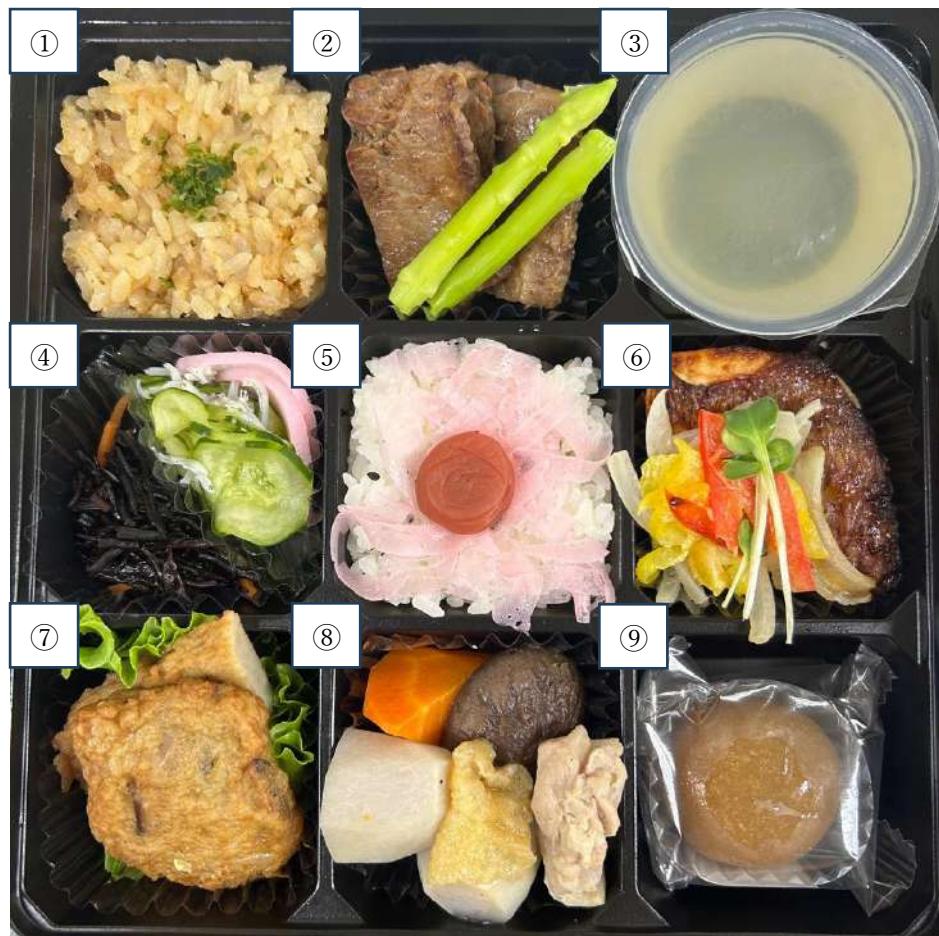
職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	松山東雲短期大学	教授	亀岡 恵子
委員	愛媛県観光物産協会	コーディネーター	森貞 千絵
	愛媛県森林組合連合会	事業部長	福住 隆雄
	koe+ (コエ)	代表	岡田 恵美
	愛媛県企画振興部政策企画局 広報広聴課	課長	鵜久森 伸吾
	愛媛県農林水産部森林局	局長	仙波 元衛

・おもてなし弁当部会 委員（4名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
部会長	松山東雲短期大学	教授	亀岡 恵子
委員	愛媛県調理師会	会長	遠藤 一義
	南予女性林業研究グループ	会長	山下 浩子
	株行会社フジ・トラベル・サービス	グループ長	佐々木 章悦

3 検討結果

(1) 献立



No.	メニュー名
1	愛媛のブランド米「ひめの凜」で味わう鯛めし
2	「あかね和牛」のステーキ～緑のささやき添え～
3	柑橘王国えひめの伊予柑ゼリー
4	県産ちりめんじやこの酢の物と県産ひじき煮
5	「ひめの凜」～削りかまぼこ・七折小梅添え～
6	「鯛」の「麦みそ」マヨ焼き
7	「じやこ天・じやこきのこ（乾しいたけ入りじやこ天）」食べ比べ
8	「伊予美人」と「しいたけ」を味わういもたき
9	松山名産の餅菓子「しょうゆ餅」

(2) パッケージ



【第1号議案】

式典行事計画（案）について

有識者による「式典専門委員会」を設置して、式典行事に係る演出・内容等の検討を行い、出演者及び演出構成等を決定した。

1 式典専門委員会

(1) 専門委員

職名	所属	役職	氏名
委員	委員長 愛媛大学	理事・副学長	杉森 正敏
	愛媛大学	客員教授	前田 真
	愛媛県文化協会	会長	市村 公子
	愛媛県吹奏楽連盟	理事長	佐藤 光博
	愛媛県合唱連盟	理事長	井上 洋一
	愛媛県高等学校文化連盟	会長	中島 康史
	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長	若田 宗孝
	愛媛県県民環境部環境局 環境・ゼロカーボン推進課	課長	大内 美世
	愛媛県農林水産部森林局	局長	仙波 元衛
	愛媛県教育委員会指導部義務教育課	課長	渡部 真一
	愛媛県教育委員会指導部高校教育課	課長	川本 昌宏

(2) 開催状況

開催日	議事
【第1回会議】 令和6年3月6日	1 全国植樹祭の概要について 2 先催県の式典演出について 3 式典行事の演出構成（案）について
【第2回会議】 (書面開催) 令和6年12月6日	1 基本計画に記載する式典行事計画（案）について 2 式典音楽部会の設置について
【第3回会議】 令和7年3月14日	1 式典行事の演出構成案について 2 式典出演者の選定について
【第4回会議】 令和7年7月7日	1 式典行事の演出構成案について 2 式典出演者の選定について 3 実施計画（素案）に記載する式典行事計画について
【第5回会議】 令和7年11月18日	1 式典演出構成案について 2 式典出演者の選定について 3 実施計画（最終案）に記載する式典行事計画について 4 会長への報告について

2 式典行事

(1) 式典スケジュール

時間	項目	進行内容
開場	招待者入場	本県 PR 映像、サテライト会場市町紹介映像、式典案内 等
プロローグ／13:00～14:00		
60 分	オープニングパフォーマンス	
	歓迎のあいさつ	松山市長
	プロローグアトラクション	愛媛の森林との出会い 「愛が芽生える ～山笑い、私も笑う～」
	感謝状の贈呈	愛媛県知事から「大会テーマ」、「シンボルマーク」、 「大会ポスター原画」作者へ感謝状の贈呈
	記念切手の贈呈	日本郵便株式会社から本県へ国土緑化運動記念切手の贈呈
	記念式典の案内	
記念式典【天皇皇后両陛下御臨席】／14：00～15：00		
60 分	天皇皇后両陛下 御到着	
	開会のことば	(公社) 国土緑化推進機構副理事長
	三旗掲揚・国歌独唱	
	主催者あいさつ	大会会長（衆議院議長）、愛媛県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者等への表彰
	苗木の贈呈	緑の少年団から農林水産大臣と環境大臣へ苗木の贈呈
	天皇皇后両陛下による お手植え・お手書き	
	代表者記念植樹	特別招待者の代表による植樹
	メインアトラクション	森林への想いを行動へ 「愛を伝える ～明日の森林へ贈る愛レター～」
	大会宣言	(公社) 国土緑化推進機構理事長 ほか3名
	リレーセレモニー	次期開催県（奈良県）へ木製地球儀の引継ぎ
	閉会のことば	愛媛県議会議長
天皇皇后両陛下 御出発		
エピローグ／15:00～15:20		
20 分	感謝のあいさつ	砥部町長
	エピローグアトラクション	森林を未来へつなげる 「愛を誓う ～みんなで、愛顔で～」

(2) 出演者一覧

項目	人数	出演者／団体名	
総合司会	1名	武内 陶子	
ストーリーテラー	1名	草薙 剛	
国歌独唱	1名	石丸 幹二	
式典進行役	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美平成中等教育学校 	
手話通訳・要約筆記	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県聴覚障害者協会 ・愛媛県要約筆記サークル連絡協議会 	
式典アシスタント	19名	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立新居浜商業高等学校 ・愛媛県立西条高等学校 ・愛媛県立今治北高等学校 ・愛媛県立松山商業高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立大洲高等学校 ・愛媛県立八幡浜高等学校 ・愛媛県立宇和島東高等学校 	
式典音楽隊（吹奏楽）	80名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校 	
式典音楽隊（合唱）	120名程度	えひめハイスクールクワイア (愛媛県高校選抜合唱団)	
その他式典出演者	介添者 三旗掲揚 苗木の贈呈	70名程度	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の少年団 <ul style="list-style-type: none"> ・朝倉緑の少年団 ・松山市立東雲小学校緑の少年団 ・麻生小緑の少年団 ・大洲東中学校緑の少年団 ・皆田小緑の少年団 ・三島小・戸祇の子緑の少年団 ・篠南緑の少年隊 ○日本ボーイスカウト愛媛県連盟 ○ガールスカウト愛媛県連盟
	大会宣言	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市森林組合 三瀬 範芳 ・愛媛木材青年協議会 成瀬 政樹 ・愛媛大学大学院生 秋本 真子
	オープニング パフォーマンス	110名程度	<ul style="list-style-type: none"> ○久万山五神太鼓保存会 ○石鎚立螺之会 ○三坂馬子唄 <ul style="list-style-type: none"> ・篠笛 阿部 一成 ・歌唱 里 アンナ ○ダンスパフォーマンス <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立松山南高等学校 ・愛媛県立松山北高等学校 ・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美高等学校 ・学校法人松山東雲学園松山東雲中学・高等学校
	プロローグ アトラクション		<ul style="list-style-type: none"> ○合唱 <ul style="list-style-type: none"> ・松山少年少女合唱団 ○メッセージ発信者 <ul style="list-style-type: none"> ・緑の少年団(皆田小緑の少年団) ・菅 千春(林業関係者) ○大会テーマソング歌唱 LONGMAN ○書道パフォーマンス <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校
	メイン アトラクション		
	エピローグ アトラクション		
合計		420名程度	

(3) アトラクション演出構成

明日の森林へ贈る愛レター

式典中のアトラクションは、「明日の森林へ贈る愛レター」をテーマに、愛が芽生え成熟していくステップに重ね合わせた一貫したストーリーで展開します。

愛媛らしいパフォーマンスを交えながら、県民の森林への想いや次世代へつなぐ森づくりを全国に発信します。

プロローグ アトラクション	<p>愛媛の森林との出会い 「愛が芽生える ~山笑い、私も笑う~」</p> <p>愛媛の森林と出会い、想いを深めていくことで、愛顔の輪が広がっていくさまをパフォーマンスを交えて表現します。</p>
	<p>【シーン1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石鎚山修験者による法螺貝の吹鳴 ● 愛媛の豊かな自然を映像で紹介 <p>【シーン2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 愛媛の林業に関する民謡「三坂馬子唄」の演奏 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>篠笛：阿部 一成 さん</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>歌唱：里 アンナ さん</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 愛媛の森林林業を映像で紹介 <p>【シーン3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生によるダンスパフォーマンスで、森林に感謝し、森林への愛が芽生えていくさまを表現 <p>【シーン4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少年少女合唱団による合唱や緑の少年団による苗木の運び入れ
メイン アトラクション	<p>森林への想いを行動へ 「愛を伝える ~明日の森林へ贈る愛レター～」</p> <p>愛顔あふれる愛媛から、森林への想いを全国へ力強く発信します。</p> <p>【シーン1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」の紹介 ● 県民代表によるメッセージ発信 <p>【シーン2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 愛レターを基に制作された大会テーマソングに合わせて高校生が書道パフォーマンスを行い、愛媛の森林への想いを力強く発信

エピローグ アトラクション	<p>森林を未来へつなげる 「愛を誓う ~みんなで、愛顔で~」</p> <p>愛媛の森林への想いを、全国からの招待者や出演者全員で共有し、オール愛媛で、森林への想いを未来への行動へとつないでいくことを誓います。</p> <p>【シーン1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大会宣言者、主要キャストによる森林・木材への愛や想いを発信 <p>【シーン2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出演者全員が登場し、アレンジされた大会テーマソングの壮大な演奏でグランドフィナーレ
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【第 2 号議案】

実施計画の策定状況について

1 概 要

第 76 回全国植樹祭の開催目的を達成するため、開催概要や式典行事計画、植樹行事計画等を盛り込んだ基本計画及び実施計画を策定する。

このうち実施計画は、基本計画で定めた各種項目をより詳細に定めるものであり、令和 6 年度から令和 7 年度の 2 か年にかけて作成を行ってきた。

2 策定までのスケジュール

- ① 基本構想（令和 5 年 3 月策定）

基本構想
(令和 4 年度)

- ② 基本計画（素案） [令和 6 年 3 月 第 2 回総会]



- ③ 基本計画（中間案） [令和 6 年 7 月 第 3 回総会]



基本計画
(令和 5 年度～令和 6 年度)

- ④ 基本計画（最終案） [令和 7 年 1 月 第 4 回総会]



「国土緑化推進機構 特別委員会」において承認・決定



- ⑤ 実施計画（素案） [令和 7 年 7 月 第 6 回総会]



実施計画
(令和 6 年度～令和 7 年度)

- ⑥ 実施計画（最終案） [令和 8 年 1 月 第 7 回総会] 【今回】



「国土緑化推進機構 特別委員会」において承認・決定（予定）

第 76 回全国植樹祭 開催 （令和 8 年 5 月 17 日）

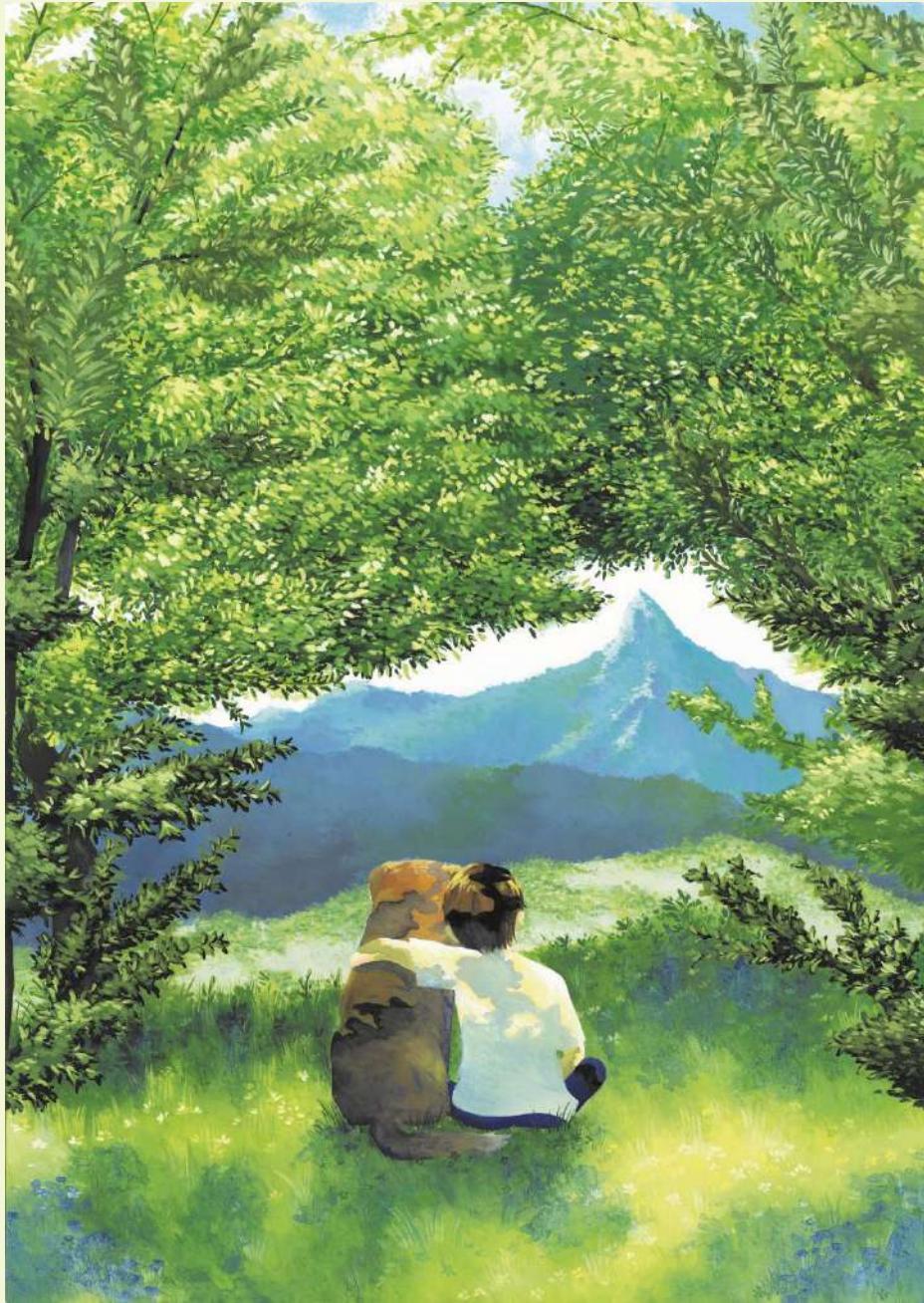
【第2号議案】

育てるけん 伊予の国から 緑の宝

第76回 全国植樹祭 えひめ
2026

実施計画

(最終案)



第76回全国植樹祭大会ポスター原画



愛媛県

目次

第1章 開催概要

1. 開催意義	2
2. 開催理念	3
3. 開催日	4
4. 主催	4
5. 開催規模	4
6. 開催会場	4
7. 大会テーマ	6
8. シンボルマーク	6
9. 大会ポスター原画	6
10. 大会テーマソング	6

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	23
2. 招待計画	23
3. 受付計画	24
4. 特別接伴計画	25
5. 作品御覧計画	25
6. 御懇談計画	25
7. 昼食計画	26
8. 会場おもてなし計画	26
9. 医療・衛生計画	26
10. 消防・防災・警備計画	27
11. 雨天時・強風時対応計画	28
12. サテライト会場計画	29
13. 実施本部計画	30
14. 研修・リハーサル計画	30

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. 式典運営計画	7
3. 式典進行計画	8

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	13
2. お手植え計画	13
3. お手播き計画	15
4. 代表者記念植樹計画	17
5. 招待者記念植樹計画(式典会場内)	17
6. 招待者記念植樹計画 (久谷ふれあい林)	17
7. 第76回全国植樹祭 メモリアル植樹計画	18

第6章 宿泊・輸送計画

1. 基本的な考え方	31
2. 宿泊計画	31
3. 輸送計画	31
4. 運行管理体制	32
5. 道路交通対策	32

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	33
2. 荒天時会場	33
3. 開催規模	33
4. 荒天時運営計画	34

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	19
2. 施設配置計画	19
3. 主要施設計画	19
4. 案内・誘導計画	21
5. 飾花計画	22
6. 音響・映像システム計画	22
7. 電気・給排水・通信設備計画	22

第8章 記念事業・関連事業計画

1. 基本的な考え方	37
2. 記念事業	37
3. 関連事業	38

第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方	39
2. 広報計画	39
3. 協賛計画	40

1. 開催意義

愛媛県は、靈峰石鎚山を頂点とする四国山地と多島美を誇る瀬戸内海、リアス海岸を擁する宇和海等、美しく豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、その林業に適した環境は、良質な木材を育んできました。

また、戦後の荒廃した国土の緑化と復興資材を供給するため、先人たちが積極的に植林に取り組んできた結果、森林が県土の約7割を占め、その約6割がスギやヒノキ等の人工林となっており、豊富な森林資源を背景として、県内の林業や木材産業は大きく発展し、全国有数の林業・林産県へと成長しました。

現在、スギやヒノキ等の人工林資源は充実し、これら豊富な森林資源を健全な姿で次世代に引き継ぐため、本県では、県民参加の森づくりを推進する「愛媛県森林環境税」の創設や、森林資源の循環利用と関連産業の競争力強化を目指す「林業躍進プロジェクト」を立ち上げるなど、様々な施策を展開しています。

こうした中、令和8(2026)年に、第76回全国植樹祭を愛媛県で開催します。本県での開催は、昭和41(1966)年以来、60年ぶり2回目となり、第76回全国植樹祭を契機として、森林の整備や木材利用に対する県民の理解が一層深まり、SDGsの達成にもつながると期待しています。

第76回全国植樹祭の開催を通じて、本県の魅力を全国に発信する絶好の機会とし、愛媛県ならではの特色ある有意義な大会とします。

本県における全国植樹祭の開催状況

昭和41(1966)年4月17日、昭和天皇・香淳皇后両陛下の御臨席を賜り、温泉郡久谷村(現 松山市久谷町)の久谷ふれあい林において、「精英樹※による拡大造林」を大会テーマに第17回全国植樹祭(当時の名称:第17回植樹行事及び国土緑化大会)を開催しました。

この大会では、両陛下はスギをお手植えになるとともに、県内外から約1万3千人の参加者により約10ヘクタールの広大な原野に約3万本のスギ・ヒノキを植樹いただきました。

また、お手播き行事は、旧県立果樹試験場(松山市東野)を会場に、天皇陛下がスギとクロマツを、皇后陛下がヒノキとアカマツをお手播きになりました。

※精英樹:森林の中で、成長や材質等が特に優れている樹



天皇皇后両陛下によるお手植え



前回大会当時



令和6年時点

式典会場(松山市久谷町 久谷ふれあい林)の移り変わりの様子

2. 開催理念

- ① 国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげていきます。
- ② 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の豊かな森林を、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継げるよう、県民参加による森づくりを推進します。
- ③ 森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「縁」を深める「愛顔(えがお)」あふれる大会とします。

四国の北西部に位置する愛媛県は、西日本最高峰の石鎚山を頂点とする四国山地を抱え、全般に急峻な地形を呈しています。

主要水系は、瀬戸内海に流れる重信川、肱川のほか高知県を経て太平洋に流れる仁淀川、四万十川の4河川があり、急峻な地形を流れる河川や、その水源を保全する上で、森林はなくてはならない存在になっています。また、森林から流れ出る清らかな水は、農地を潤し、漁業資源の宝庫でもある瀬戸内海や宇和海を育んできました。



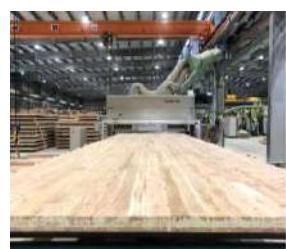
西日本最高峰の石鎚山

本県の森林は、戦後復興期の造林に始まり、昭和30(1955)年代の豊富な農山村の労働力などにも支えられ、現在では、スギ・ヒノキをはじめとする豊かな森林が県全域に広がっています。特に、全国に先駆けて育林技術体系を作成し、優良材生産を掲げる「久万林業」や、ヒノキの中でも特に美しさと強さを秘め、素性の良さから最高級建具にも使われる「宇和ヒノキ」等、全国に名を馳せる優れた産地が地域経済を牽引し、森林を支える林業は農山村発展の礎にもなってきました。



優良材生産を掲げる「久万林業」

県内の森林資源をみると、本県で全国植樹祭が開催された昭和41(1966)年当時、51年生以上の森林面積はわずか約2%であったものが、現在では約82%にまで拡大しており、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用を本格的に推進していく時代になりました。また、質・量ともに優れた森林資源を背景として県内の木材産業も早くから発展し、品質の確かな愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」の生産や、新たな木質建材として期待されているCLT(直交集成板)の本格生産も始まるなど、全国屈指の林産県へと成長を遂げ、私たちの生活になくてはならない木材製品を国内外に供給しています。



全国最大規模のCLT工場

一方で、地球温暖化に伴う深刻な気候変動は全国各地で甚大な自然災害をもたらしており、本県でも平成30年7月豪雨災害の爪痕が深く残る中、県民の安心・安全な暮らしを支えるための災害に強い森づくりが求められています。また、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現など、森林が有する国土保全や水源かん養、生物多様性の保全や地球温暖化の防止といった多面的機能の発揮による経済的・社会的効果は、多方面から大きな期待が寄せられています。

このような状況を踏まえ、私たちの生活を支える豊かな森林を、一人一人が意識し、守り育てながら健全な姿で次の世代に引継いでいくため、開催理念の下、「第76回全国植樹祭」を開催します。

3. 開催日

令和8年5月17日(日)

4. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
愛媛県

5. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員等を含め、5,000人程度の規模で開催します。
ただし、荒天時は規模を縮小します。

6. 開催会場

(1)式典会場

式典会場では、各種アトラクションや天皇皇后両陛下によるお手植え、お手書き行事を実施します。
また、招待者に本県の森づくり活動の取組や、観光・県産品等をPRするおもてなし広場を設置します。

会場名	所在地
愛媛県総合運動公園	松山市



(2)植樹会場

招待者が記念植樹を行う植樹会場を、式典会場内や前回大会(第17回)の開催地である久谷ふれあい林に設置します。

会場名	所在地
愛媛県総合運動公園(式典会場内)	松山市
久谷ふれあい林	松山市

(3) サテライト会場

多くの県民と開催理念を共有し、大会の開催効果を高めるため、県直営の「えひめ森林公园」のほか、県内4か所に各市町の特色を活かしたサテライト会場を設置します。

会場名	所在地
えひめ森林公园	伊予市
イオンモール今治新都市	今治市
大街道商店街	松山市
鬼北総合公園	鬼北町
松野町役場	松野町

■ 会場位置図



7. 大会テーマ

育てるけん 伊予の国から 緑の宝

かい べには
作者：甲斐 紅苺 さん（愛媛県立伊予農業高等学校3年）※学校・学年は応募時

全国から応募があった2,072点の作品の中から、選定しました。

「育てるけん」という愛媛の優しい方言の中に「豊かな森を未来へ引き継いでいこう」という強い意志が感じられ、持続可能な社会の実現や県民参加による森づくりを全国に向けて発信することとしている本大会にふさわしい作品です。

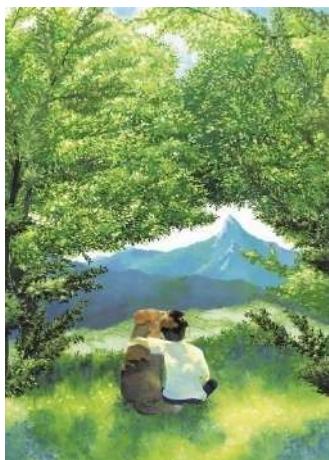
8. シンボルマーク

たにもと やすのり
作者：谷本 康則 さん（大阪府在住）※住所地は応募時



全国から応募があった492点の作品の中から、選定しました。本県の豊かな森、海、段々畑、しまなみ海道が、みかんのシルエットとして一つにまとめられており、森林がもたらす多様な恵みと本県の魅力を上手く表した作品です。

9. 大会ポスター原画



タイトル：「安らぎの地」

しらいし はるの
作者：白石 暖乃 さん（愛媛県立松山南高等学校砥部分校3年）
※学校・学年は応募時

県内の小中学校、高等学校等の児童・生徒から応募があった2,288点の作品の中から、選定しました。

愛媛の豊かな森林の中で過ごし、守られている情景が、大会テーマにある「緑の宝」を美しく細やかな遠近感で表現し、爽やかな空気も感じさせる作品です。

10. 大会テーマソング

楽曲名 : Seeds of Tomorrow
作詞・作曲 : HIROYA HIRAI
歌唱・演奏 : LONGMAN



1. 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の大会とします。
- (2) 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- (3) 県内外を問わず、子どもや高齢者、障がい者等、できる限り多くの方々と開催理念に賛同いただいた企業・団体等が参加できるよう配慮します。

2. 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、愛媛らしさを感じていただけるものとします。

- (1) 参加者の安全性や快適性に十分配慮し、緑の少年団や県内の高校生等の協力を得ながら行います。
- (2) 式典進行役、式典アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。
- (3) 危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。



プロローグの様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



記念式典の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



記念式典の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



記念式典の様子

3. 式典進行計画

(1)式典スケジュール

時 間	項 目	進行内容
開場	招待者入場	本県PR映像、サテライト会場市町紹介映像、式典案内 等
プロローグ／13:00～14:00		
60分	オープニングパフォーマンス	
	歓迎のあいさつ	松山市長
	プロローグアトラクション	愛媛の森林との出会い 「愛が芽生える ～山笑い、私も笑う～」
	感謝状の贈呈	愛媛県知事から「大会テーマ」、「シンボルマーク」、「大会ポスター原画」作者へ感謝状の贈呈
	記念切手の贈呈	日本郵便株式会社から本県へ国土緑化運動記念切手の贈呈
	記念式典案内	
記念式典【天皇皇后両陛下御臨席】／14:00～15:00		
60分	天皇皇后両陛下 御到着	
	開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
	三旗掲揚・国歌独唱	
	主催者あいさつ	大会会長(衆議院議長)、愛媛県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者等への表彰
	苗木の贈呈	緑の少年団から農林水産大臣と環境大臣へ苗木の贈呈
	天皇皇后両陛下によるお手植え・お手書き	
	代表者記念植樹	特別招待者の代表による植樹
	メインアトラクション	森林への想いを行動へ 「愛を伝える ～明日の森林へ贈る愛レター～」
	大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長 ほか3名
	リレーセレモニー	次期開催県(奈良県)へ木製地球儀の引継ぎ
	閉会のことば	愛媛県議会議長
	天皇皇后両陛下 御出発	
エピローグ／15:00～15:20		
20分	感謝のあいさつ	砥部町長
	エピローグアトラクション	森林を未来へつなげる 「愛を誓う ～みんなで、愛顔で～」

(2)登壇者一覧

No.	登壇者名	出演シーン等
1	大会会長(衆議院議長)	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒步・御着席 ②主催者あいさつ ③表彰 (国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール) ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒步・御出発
2	(公社)国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒步・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒步・御出発
3	愛媛県知事	①感謝状の贈呈 ②記念切手の贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒步・御着席 ④主催者あいさつ ⑤表彰(愛媛県緑化関係表彰) ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒步・御出発
4	農林水産大臣	①表彰(緑化功労者) ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰(全日本学校関係緑化コンクール)
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	(公社)国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	奈良県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事あいさつ
9	愛媛県議会議長	○閉会のことば
10	松山市長	○歓迎のあいさつ
11	砥部町長	○感謝のあいさつ
12	日本郵便(株) 代表取締役社長	○記念切手の贈呈
13	受賞者 ・大会テーマ作者 ・シンボルマーク作者 ・大会ポスター原画作者	○感謝状の贈呈
14	受賞者 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ・愛媛県緑化関係受賞者代表	○表彰

(3)出演者一覧

項目	人数	出演者／団体名	
総合司会	1名	武内 陶子	
ストーリーテラー	1名	草彅 剛	
国歌独唱	1名	石丸 幹二	
式典進行役	3名	・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美平成中等教育学校	
手話通訳・要約筆記	7名	・愛媛県聴覚障害者協会 ・愛媛県要約筆記サークル連絡協議会	
式典アシスタント	19名	・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立新居浜商業高等学校 ・愛媛県立西条高等学校 ・愛媛県立今治北高等学校 ・愛媛県立松山商業高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立大洲高等学校 ・愛媛県立八幡浜高等学校 ・愛媛県立宇和島東高等学校	
式典音楽隊(吹奏楽)	80名程度	・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校	
式典音楽隊(合唱)	120名程度	えひめハイスクールクワイア(愛媛県高校選抜合唱団)	
その他式典出演者	介添者 三旗掲揚 苗木の贈呈	70名程度	○緑の少年団 ・朝倉緑の少年団 ・松山市立東雲小学校緑の少年団 ・麻生小緑の少年団 ・大洲東中学校緑の少年団 ・皆田小緑の少年団 ・三島小・戸祇の子緑の少年団 ・篠南緑の少年隊 ○日本ボーイスカウト愛媛県連盟 ○ガールスカウト愛媛県連盟
	大会宣言	3名	・大洲市森林組合 三瀬 範芳 ・愛媛木材青年協議会 成瀬 政樹 ・愛媛大学大学生 秋本 真子
	オープニング パフォーマンス	110名程度	○久万山五神太鼓保存会 ○石鎧立螺之会 ○三坂馬子唄 ・篠笛 阿部 一成 ・歌唱 里 アンナ ○ダンスパフォーマンス ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立松山南高等学校 ・愛媛県立松山北高等学校 ・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美高等学校 ・学校法人松山東雲学園松山東雲中学・高等学校
	プロローグ アトラクション		○合唱 ・松山少年少女合唱団
	メイン アトラクション		○メッセージ発信者 ・緑の少年団(皆田小緑の少年団) ・菅 千春(林業関係者)
	エピローグ アトラクション		○大会テーマソング歌唱 LONGMAN ○書道パフォーマンス ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校
合計		420名程度	

(4)式典演出の概要

明日の森林へ贈る愛レター

式典中のアトラクションは、「明日の森林へ贈る愛レター」をテーマに、愛が芽生え成熟していくステップに重ね合わせた一貫したストーリーで展開します。

愛媛らしいパフォーマンスを交えながら、県民の森林への想いや次世代へつなぐ森づくりを全国に発信します。

総合司会



武内 陶子 さん
(フリーアナウンサー)

ストーリーテラー



草彅 剛 さん
(俳優・歌手・タレント)

国歌独唱



石丸 幹二 さん
(俳優・歌手)

プロローグアトラクション

愛媛の森林との出会い 愛が芽生える ~山笑い、私も笑う~

愛媛の森林と出会い、想いを深めていくことで、愛顔の輪が広がっていくさまをパフォーマンスを交えて表現します。

- オープニングパフォーマンスでは、久万山五神太鼓がインパクトのある演奏で式典の開幕を告げ、一気に愛媛らしい雰囲気に引き込みます。
- 西日本最高峰の石鎚山の修験者による法螺貝の音色でプロローグアトラクションが始まり、愛媛の山々とその豊かな自然が、人々の生活に深く関わり、愛顔をもたらしている様子を映像で紹介します。
- 三坂馬子唄(篠笛・歌唱)の披露などを交えながら、愛媛の林業の歴史を振り返り、林業・木材産業の未来に向けたオール愛媛の取組を知り、愛媛の森林・林業への理解を深めるきっかけとします。
- 明るい春の森林をイメージしたダンスパフォーマンスで、森林へ感謝し、森林への愛が芽生えていくさまを表現します。
- 森林への愛を次の世代へつないでいくために、少年少女合唱団による合唱や緑の少年団による苗木の運び入れを交えつつ、ストーリーテラーの草彅剛さんが、愛媛の森林のために一歩踏み出す大切さを伝え、このあとの記念式典へとつなげます。



【篠笛:阿部 一成 さん】



【歌唱:里 アンナ さん】

記念式典

緑化功労者等の各種表彰、苗木の贈呈、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を実施します。



各種表彰



お手植え



お手播き



苗木の贈呈

リレーセレモニー
(○第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

メインアトラクション(記念式典内)

森林への想いを行動へ 愛を伝える ~明日の森林へ贈る愛レター~

愛顔あふれる愛媛から、森林への想いを全国へ力強く発信します。

- 「愛のくに」であり「言葉の文化」が豊富な愛媛県ならではの、県民主体の取組である「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」で寄せられた愛レターを紹介します。
- 愛レターを基に制作された大会テーマソングの演奏に合わせて、県内の高校生による書道パフォーマンスで愛媛の森林への想いを力強く発信します。

エピローグアトラクション

森林を未来へつなげる 愛を誓う ~みんなで、愛顔で~

愛媛の森林への想いを、全国からの招待者や出演者全員で共有し、オール愛媛で、森林への想いを未来への行動へとつないでいくことを誓います。

- 林業従事者による森林への愛や木材への想い、未来に向けた決意を発信します。
- ストーリーテラーの草彅剛さんと国歌独唱の石丸幹二さんからのメッセージを通じて、一人一人が森林への想いを未来に行動につなげていくことの大切さを共有します。
- 出演者全員が登場し、全国からの招待者も巻き込んで、アレンジされた大会テーマソングの壮大な演奏でフィナーレを迎えます。

1. 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1)将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や立地条件に適した県民に親しみのある樹種を植樹します。
- (2)植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用することを基本とします。
また、苗木のスクールステイにより、苗木づくりの段階から多くの県民に参加いただきます。
- (3)県民との協働による森づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、できる限り多くの方々に植樹に参加いただけるよう配慮します。

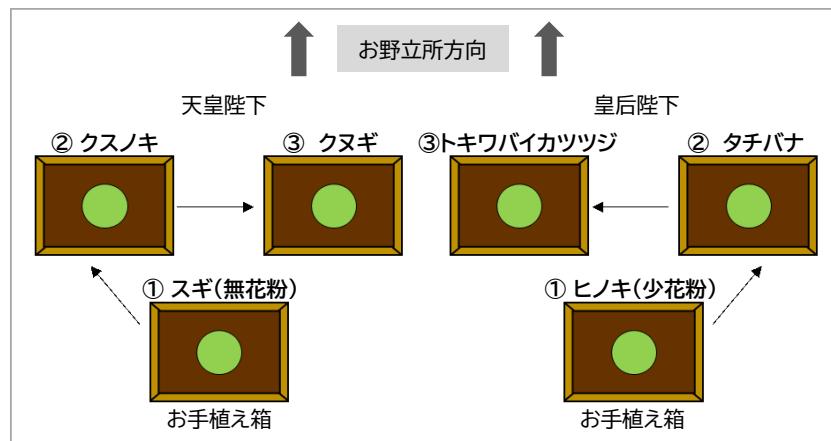
2. お手植え計画

- (1)天皇皇后両陛下にお手植えを賜ります。
- (2)お手植え木は、大会の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。

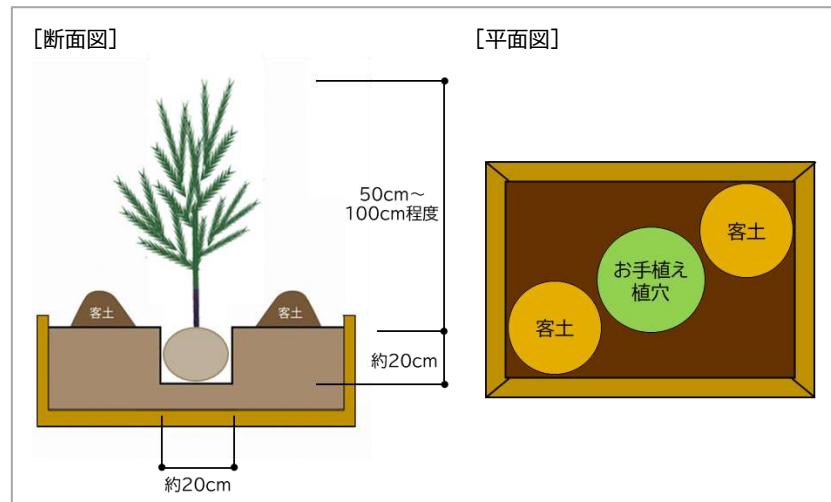
天皇陛下によるお手植え
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



■ お手植え樹種配置図



■ お手植え標準図



■ 天皇陛下お手植え樹種(3種)

スギ(無花粉) / 愛媛県の林業における主要樹種

本県の林業、木材産業を支える常緑針葉樹であり、省内人工林のおよそ半数を占めています。

県では、無花粉のスギ優良品種を選抜するなど、花粉症への対策にも力を入れるとともに、県産スギ材のうち、県独自の品質基準を満たす製品を「媛すぎ」としてブランド化し、国内外への販路拡大に取り組んでいます。



クスノキ / 愛媛県内に樹齢2000年以上の長寿木が存在

県内の照葉樹林を構成する常緑広葉樹であり、公園等によく植栽され、広く県民に親しまれています。

生長が早く丈夫で寿命が長いため、各地に多くの巨樹・名木が残り、地域のシンボルとなっています。

今治市大三島町の大山祇神社にある伝承樹齢2600年の御神木をはじめ、境内の30本あまりが国の天然記念物に指定されています。



クヌギ / 愛媛県における特用林産物の生産を支える樹種

県内の里山林を代表する落葉広葉樹であり、昭和35(1960)年頃までは、薪炭材として一般家庭の暖房や炊事等に活用されていました。

現在でも、全国屈指の生産量を誇る「原木乾しいたけ」の栽培用ほだ木のほか、茶の湯用高級炭として全国に名を馳せる「伊予の切炭」の材料として利用されるなど、本県の産業を支えています。



■ 皇后陛下お手植え樹種(3種)

ヒノキ(少花粉) / 愛媛県の林業における主要樹種

本県の林業、木材産業を支える常緑針葉樹であり、省内人工林のおよそ半数を占めています。

本県は全国トップクラスのヒノキ素材生産量を誇り、国内有数のヒノキ生産地としての地位を確立しています。

県産ヒノキ材のうち、県独自の品質基準を満たす製品を「媛ひのき」としてブランド化し、国内外への販路拡大に取り組んでいます。



タチバナ / 愛媛県内に自生する野生の柑橘

伊豆半島以西の太平洋側から沖縄にかけて自生する常緑広葉樹であり、常に葉が生い茂る様子などから、古くから長寿や繁栄の象徴として縁起物とされてきました。

「柑橘王国えひめ」にゆかりが深く、本県では、南予地方にわずかに自生しています。

初夏に咲く白い五弁花は、文化勲章の意匠として採用されています。



トキワバイカツツジ / 愛媛県のみに自生する希少樹種

本県固有の常緑広葉樹で、4月下旬から5月上旬に淡紅紫色の花を咲かせます。

自生地は全国で宇和島市の1ヶ所のみと、分布が極めて限定されており、県の条例により特定希少野生動植物に指定されています。

同市にある南楽園では、生息域外保全のため植栽されたものを観賞することができます。



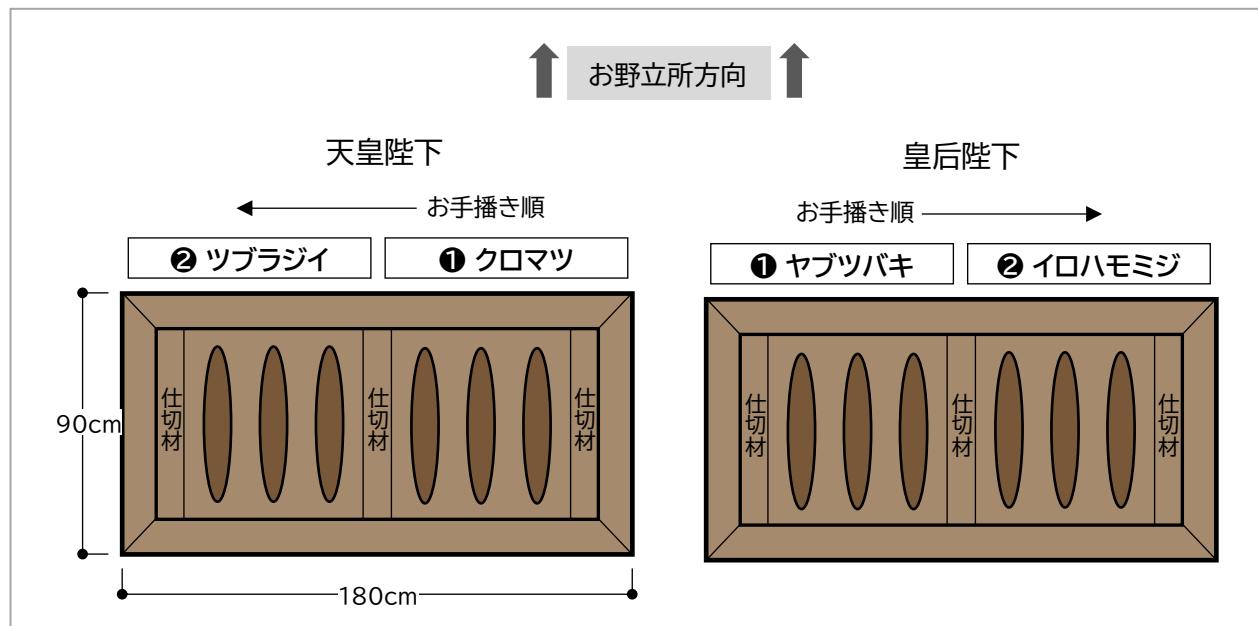
3. お手播き計画

- (1)天皇皇后両陛下にお手播きを賜ります。
- (2)お手播きされた種子から育成した苗木は、県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



天皇陛下によるお手播き
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

■ お手播き樹種配置図



■ 天皇陛下お手播き樹種(2種)

クロマツ / 愛媛県の木「まつ」の一種

海岸部の砂浜等に自生する常緑針葉樹であり、本県の木「まつ」の一種として、広く県民に親しまれています。

瀬戸内の海岸部において、美しい白砂青松の景観を構成し、今治市志島ヶ原の松原は国の名勝に指定されています。

明治初期までは製塩用の燃料として、昭和中期までは菊間瓦の生産に利用されていました。



ツブラジイ / 松山城の城山を構成する主要樹種

県内の照葉樹林を代表する常緑広葉樹で、他の同種と比較して果実が丸いため「円ら椎(つぶらじい)」という名前が付けられました。

松山城山樹叢(じゅそう)の構成樹種であり、初夏になると淡黄色の花を咲かせ新緑の中に彩りを添えます。

生長すると樹高25mに及ぶ大木となり、県内複数の市で天然記念物に指定されています。



■ 皇后陛下お手播き樹種(2種)

ヤブツバキ / 開催地である松山市の花

県内の照葉樹林を代表する常緑広葉樹であり、公園や寺社境内等に植栽され、広く県民に親しまれています。

冬から春にかけて咲く赤い花は、開催地である松山市の花に指定されています。

奈良時代に編纂された「伊豫国風土記」には、本種が繁茂する様子を詠んだ句碑文が記載されています。



イロハモミジ / 美しい紅葉により四国山地の秋を彩る樹種

県内の標高300~1300mの林内に自生する落葉広葉樹です。

日本を代表するカエデの一種であり、庭園や寺社境内、住宅の庭木としてよく植栽されています。

秋には、面河渓や小田深山渓谷をはじめ、県内各地で見事な紅葉を見ることができ、広く県民に親しまれています。



4. 代表者記念植樹計画

- (1)特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に植樹を行います。
(2)植樹する樹種は、本県を代表する林業樹種であるスギ・ヒノキとします。



代表者記念植樹の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

5. 招待者記念植樹計画(式典会場内)

- (1)招待者は、式典会場内でポット等を使用した植樹を行います。
(2)植樹する樹種は、本県を代表する林業樹種であるスギ・ヒノキとします。

■ 植樹要領図



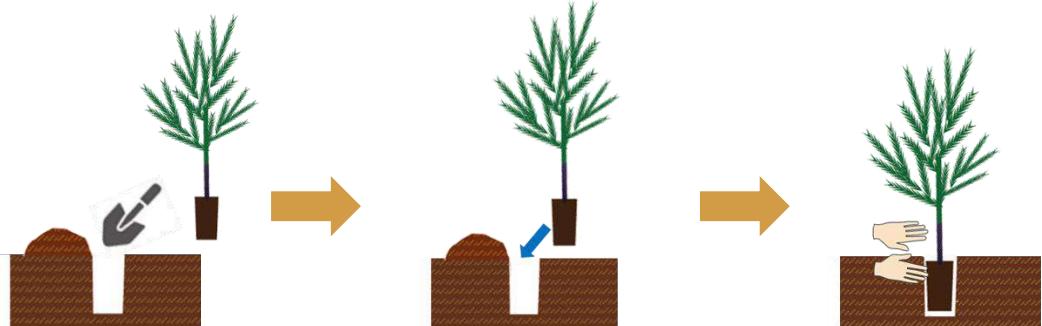
6. 招待者記念植樹計画(久谷ふれあい林)

- (1)県内招待者の一部は、久谷ふれあい林内で植樹を行います。
(2)「苗木のスクールステイ」により県内の児童・生徒が育成した苗木を使用します。



招待者記念植樹の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

■ 植樹要領図



①所定の場所に苗木の根元と地面の高さが同じになるよう植穴を掘ります。

②苗木を植穴に入れ、苗木の根元と地面の高さが同じになるように土を戻し入れ、幅・深さを調整します。

③地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、上から手で押さえて根元の土を固めます。

7. 第76回全国植樹祭メモリアル植樹計画

- (1)大会後の令和8年秋に、久谷ふれあい林において、天皇皇后両陛下のお手植え木をはじめ、記念式典で植樹された苗木を定植します。
- (2)「ぐるっと植樹祭えひめ」において、県内20市町で市町長が記念植樹した苗木を定植します。
- (3)本県とのゆかりがある住友グループによる大阪・関西万博「住友館」で、子どもたちが植林体験したヒノキ苗木の一部を定植し、「万博2025の森(仮称)」として整備します。

■ 久谷ふれあい林の概要と整備方針

久谷ふれあい林は、松山市久谷町に位置し、昭和41(1966)年に開催された第17回大会の会場として整備され、現在は森林ボランティア活動の場などとして県民に親しまれています。

本大会では、前回大会で植樹されてから約60年が経ち、利用期を迎えたスギ・ヒノキを伐採し、式典会場整備に利用するとともに、植樹会場とすることで、森林資源の循環利用を象徴する森林となるよう整備を行います。



伐採中・後の久谷ふれあい林
(令和7年時点)

[現況]



[将来イメージ]



1. 基本的な考え方

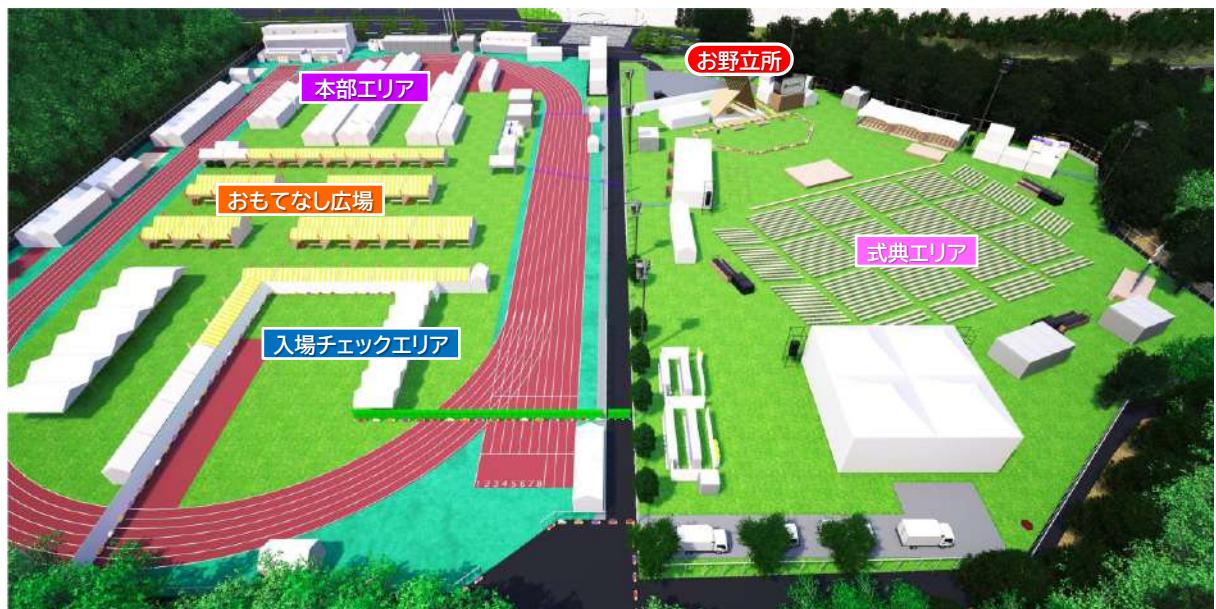
式典会場の整備は、次の事項を基本として実施します。

- (1)自然環境にできる限り負荷を与えないように配慮するとともに、経費削減を図ります。
- (2)設置する構造物等には、県産材をできる限り使用します。
- (3)レイアウトや建築物等は、周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性考慮し、全ての招待者が安心して参加できるよう配慮します。

2. 施設配置計画

式典会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場及び入場チェックエリアにゾーン分けします。

■ 式典会場イメージ



3. 主要施設設計画

(1) お野立所 のだてしょ

- ・県民に広く愛される石鎚山の威風堂々とした姿を取り入れた象徴的なデザインです。
- ・森林資源の循環（「植える」「育てる」「使う」）を三角形で表現します。
- ・県産スギ・ヒノキのCLTを使用して、本県の森林資源の豊かさを表現します。



(2)仮設工作物

特別招待者席や式典音楽隊席、大型映像装置等の仮設工作物は、原則として県産材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

(3)会場内工作物

①県産材の積極的利用

お机や司会台、演台等の木製品には、原則として県産材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

また、県内外からの招待者をお迎えするため、県内高校生の協力により県産材を使用したウェルカムオブジェを製作します。



お机
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



シンボル台、演台
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

②久谷ふれあい林の伐採木の活用

招待者が利用するベンチ及び式典会場に設置する飾花プランターカバーには、前回大会(第17回)の会場である久谷ふれあい林に植樹されたスギ・ヒノキを使用し、森林資源の循環利用の取組を全国に発信します。

また、プランターカバーの一部は、県内の小中学校、高等学校、特別支援学校等の児童・生徒の協力により製作します。



ベンチ
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



プランターカバー
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

③大阪・関西万博「大屋根リング」CLTの再利用

大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」に使用されたCLTの約8割が本県産であることから、万博協会から、大屋根リング解体後のCLTパネルを無償で譲り受け、天皇皇后両陛下の御歩道や出演者の登壇ステージなどに活用することで、森林資源の循環利用と県内の林業・木材産業の魅力を全国に発信します。



大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」
(©(公社)2025年日本国際博覧会協会)

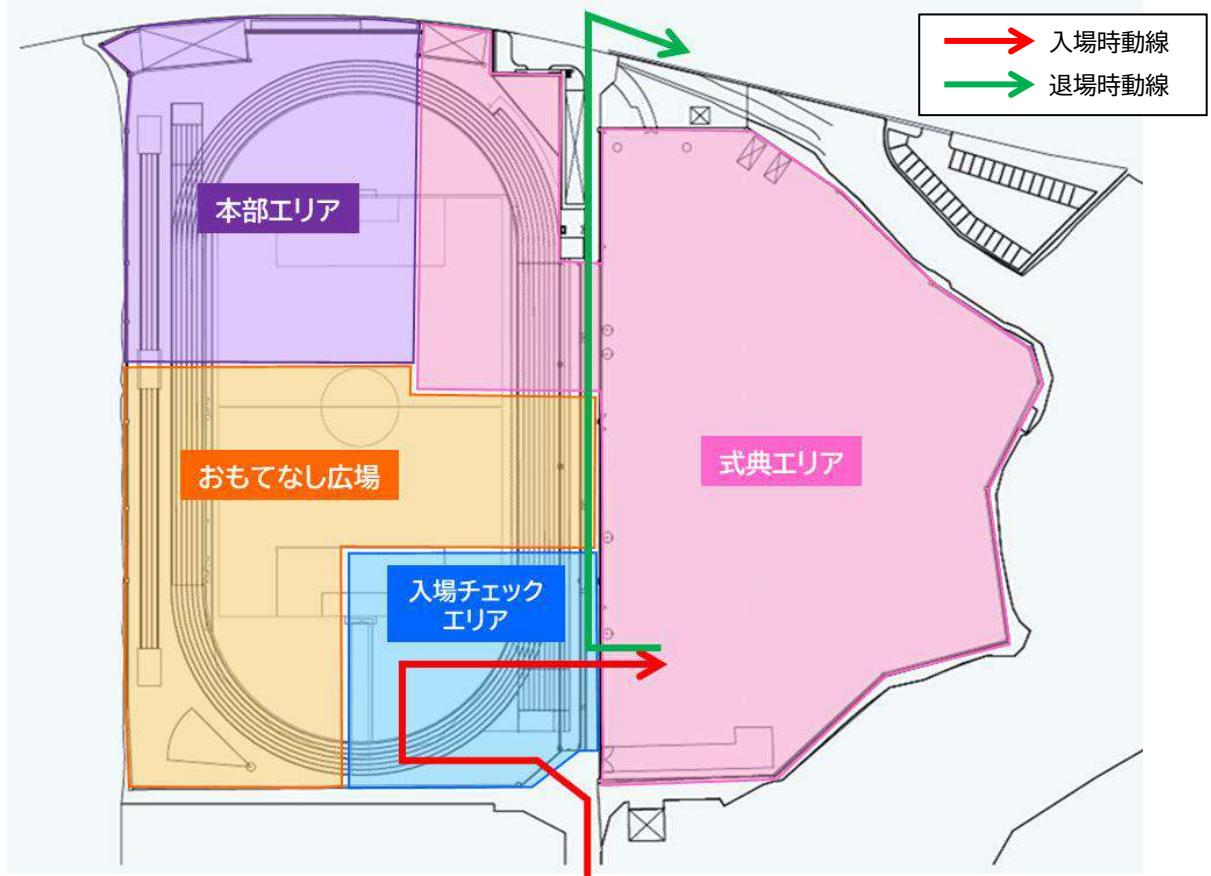


4. 案内・誘導計画

- (1) 招待者が安全かつ円滑に式典行事や植樹行事等に参加でき、各エリアへの移動にも支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- (2) 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、視認性の良い位置、高さに設置します。また、ピクトサイン(絵文字)等を使用します。
- (3) 案内サインには、再利用可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置場所	サイン種別	内 容
式典会場	施設	各エリア、施設等の名称を表示した標示板の設置
	誘導	招待者動線上に各エリア、施設等に誘導する標示板の設置
	会場案内図	会場内に現在地の表示を含む、全体図の標示板の設置
	注意事項	招待者動線上に遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等の標示板の設置
	座席	<ul style="list-style-type: none"> ・中央特別招待者席は、各座席に名札の貼付 ・特別招待者入口に座席配置表の標示板の設置 ・一般招待者席は、バス号車単位で座席に表示
輸送バス	バス号車	添乗員はバス号車を表示したプラカードを掲げ、招待者の誘導
	誘導	会場周辺の動線に従い、バスを招待者乗降位置や駐車場に誘導する標示板の設置

■入退場時の動線イメージ



5. 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線を確保できるよう配置します。

また、飾花の一部は、県内農業関係高等学校の生徒の協力により育成します。

設置区域	内 容
式典エリア	会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の動線を明確にするため、飾花を配置
入場チェックエリア	招待者の安全で円滑な誘導ができるよう飾花を配置

種別	内 容
プランター飾花	会場の雰囲気を引き立てるとともに、各エリアの区分や招待者の動線を明確にするため、飾花を配置
フラワーアレンジメント	会場を彩るため、フラワーアレンジメントを配置

6. 音響・映像システム計画

(1)音響

- 演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。
- 集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。

(2)映像

- 招待者がどこにいても式典の状況を視認できるよう、大型映像装置を配置します。
- 大型映像装置を使って、式典の構成や演出を効果的に表現します。
- 特別招待者席(上手・下手)には、モニターを設置し、大型映像装置と同じ映像を放映します。

7. 電気・給排水・通信設備計画

(1)電気設備計画

会場内で使用する電源は、仮設電源を設置します。

(2)給排水計画

水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理します。

分類	種類	内 容
給水	手洗い水	給水タンク一体型手洗いユニットで対応
	トイレ洗浄水	給水タンクからの水で洗浄
排水	汚水・雑排水	タンク貯蔵し、専門業者により回収・処理

(3)仮設トイレ計画

会場内に適切な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

(4)通信設備計画

運営を円滑に行うため、実施本部等に携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適切に配置します。

1. 基本的な考え方

大会運営は、次の事項を基本として実施します。

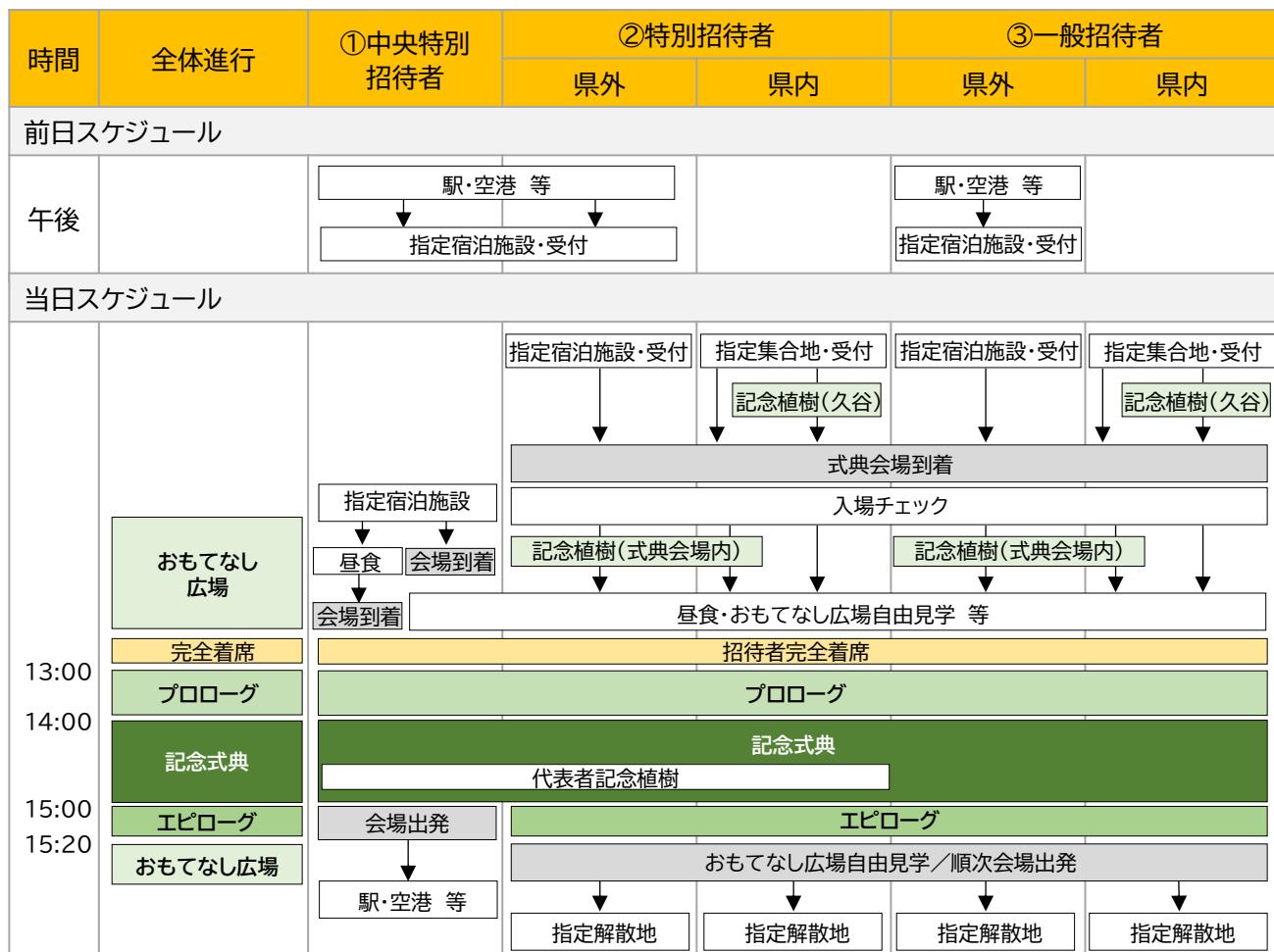
- (1)全国からの招待者をおもてなしの心でお迎えし、大会の開催意義や理念を広く発信する場とします。
- (2)運営は、市町、関係団体等の幅広い協力が不可欠なため、各団体と連携を図りながら進めます。

2. 招待計画

■ 招待者の区分及び規模

招待者区分		内 容	人 数
①中央特別招待者		国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長、愛媛県知事、愛媛県議会議長、奈良県知事、奈良県議会議長 等	30 人
②特別招待者	県外	県選出国会議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者 等	220 人
	県内	県議会議員、市町長、緑化功労者、県実行委員会委員 等	200 人
③一般招待者	県外	各都道府県森林・林業関係者 等	900 人
	県内	森林・林業関係者、公募参加者 等	2,150 人
小計			3,500 人
④実施本部員 等	実施本部員、出演者 等		1,500 人
合計			5,000 人

■招待者の前日・当日スケジュール



※スケジュールは変更となる場合があります。

3. 受付計画

(1) 前日受付

- ・宿泊する招待者は、大会前日に指定宿泊施設で受付を行います。
- ・指定宿泊施設には招待者専用の受付を設置し、円滑なチェックインができるようにします。
- ・指定宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ・大会当日は、指定宿泊施設や指定集合地で、移動用バスに乗車する前に受付を行います。
- ・IDカードの紛失や大会用品等が不足した場合に備え、入場チェックエリアにIDカード再発行所を兼ねた大会用品等のストックヤードを設け、不足品の対応を行います。
- ・円滑な受付や記念品等の配付が行えるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分		受付日	受付区分	受付場所	業務内容
② 特別招待者	①中央特別招待者	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・大会用品、記念品等の配付
	県外	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
		当日	バス乗車受付	指定宿泊施設	・IDカードの着用確認 ・本人確認
	県内		入場チェック	式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック
	当日	バス乗車受付	指定集合地	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付	
		入場チェック	式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック	
③ 一般招待者	県外	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
		当日	バス乗車受付	指定宿泊施設	・IDカードの着用確認 ・本人確認
			入場チェック	式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック
	県内	当日	バス乗車受付	指定集合地	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
			入場チェック	式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック

(3) 招待者への配付物

式典の円滑な運営のため、次の配布物一覧に記載する物品を配付します。

- ・大会の開催意義や理念、本県の文化や産業、観光資源等を全国に発信するため、記念品を配付します。
- ・記念品の選定にあたっては、愛媛らしい県産品の活用を図るとともに、環境に配慮したものとし、遠方からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。

■ 配付物一覧

区分	①中央特別 招待者	②特別招待者		③一般招待者		④出演者等	⑤実施 本部員等
		県外	県内	県外	県内		
大会用品	大会プログラム	○	○	○	○	○	
	IDカード		○	○	○	○	○
	帽子		○	○	○		○
	日章旗	○	○	○	○		
	会場持込用透明袋	○	○	○	○	○	○
	雨合羽		○	○	○	○	○
	簡易座布団		○	○	○		
記念品		○	○	○	○		

4. 特別接伴計画

特別接伴が必要となる招待者には、実施本部員が次の対応を行います。

- ・移動は、借上車両等の乗用車を使用します。
- ・大会前日は、出迎えから宿泊場所への案内まで、常時サポートします。
- ・大会当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。
- ・行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。

5. 作品御覧計画

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び大会ポスター原画を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

作品御覧概要	
【主 催】	(公社)国土緑化推進機構、愛媛県
【開催日】	大会前日(令和8年5月16日(土))
【出席者】	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者 第76回全国植樹祭大会ポスター原画作者

6. 御懇談計画

天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場を設けます。

御懇談概要	
【主 催】	愛媛県
【開催日】	大会前日(令和8年5月16日(土))
【出席者】	緑化功労者 等

7. 昼食計画

- (1)県産の食材をふんだんに使用した愛媛らしい献立の弁当を提供します。
- (2)納入業者は、製造能力、運搬時間・距離等を検討の上、選定します。
- (3)弁当の製造、輸送、保管及び配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期します。
- (4)弁当等の容器・包装資材は、環境に十分配慮したものを使用します。

8. 会場おもてなし計画

- (1)おもてなし広場を設置し、招待者が安心して快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待所、救護所等を配置するとともに、森づくり活動や観光等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや地場産物等を取り揃えた物産販売コーナー等を関係団体の協力により運営します。
- (2)おもてなし広場は、出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努めます。



おもてなし広場の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

区分	場 所	内 容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内、情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配付、遺失・拾得物の管理
	湯茶接待所	湯茶及びミネラルウォーターの提供
	みかんジュースコーナー	蛇口からみかんジュースの提供（「柑橘王国えひめ」のPR）
	展示コーナー	県内の森林・林業、観光等の紹介
	物産販売コーナー	県内の特産品や飲食物の販売
	休憩コーナー	休憩用のテントの設置
	臨時郵便局	記念切手の販売や郵便サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護

9. 医療・衛生計画

(1)医療救護対策

- ・式典会場に応急処置セットや休憩用ベッド等を備えた救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- ・消防署や近隣の医療機関の協力を得て、緊急時の搬送・受入体制を整備します。

(2)熱中症対策

- ・場内放送で湯茶接待所の案内や、こまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意を促します。
- ・救護所には、経口補水液を備えるなど、適切な処置を行える体制を整備します。

(3)衛生対策

- ・保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ・飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

10. 消防・防災・警備計画

(1) 基本的な考え方

- ・参加者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- ・消防、警察、その他関係機関との協力体制を築き、密接な連携を図ります。
- ・危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成します。

(2) 消防・防災

- ・実施本部の安全衛生部(消防防災班・警備班)が中心となり、異常の早期発見及び通報に努めます。
- ・式典会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ・参加者全員が安全に避難できる体制を整備します。

(3) 警備

- ・式典会場内の事件・事故を防止し、大会の円滑な運営を図るため、警察等の関係機関と協力して警備を実施します。
- ・実施本部員等を配置して、警備や招待者の誘導を行います。
- ・入場チェックエリアでは、入場者のIDカード確認や金属探知機等による持ち物検査を行います。
- ・式典会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

【実施体制】

実施本部員から構成される警備班が、専門の警備員と協力して警備を実施します。

【実施期間】

警備実施期間及び重点期間の2段階を設定し、万全の対策を講じます。

- ・警備実施期間: 大会開催の準備段階から大会前日まで
- ・警備重点期間: 大会当日

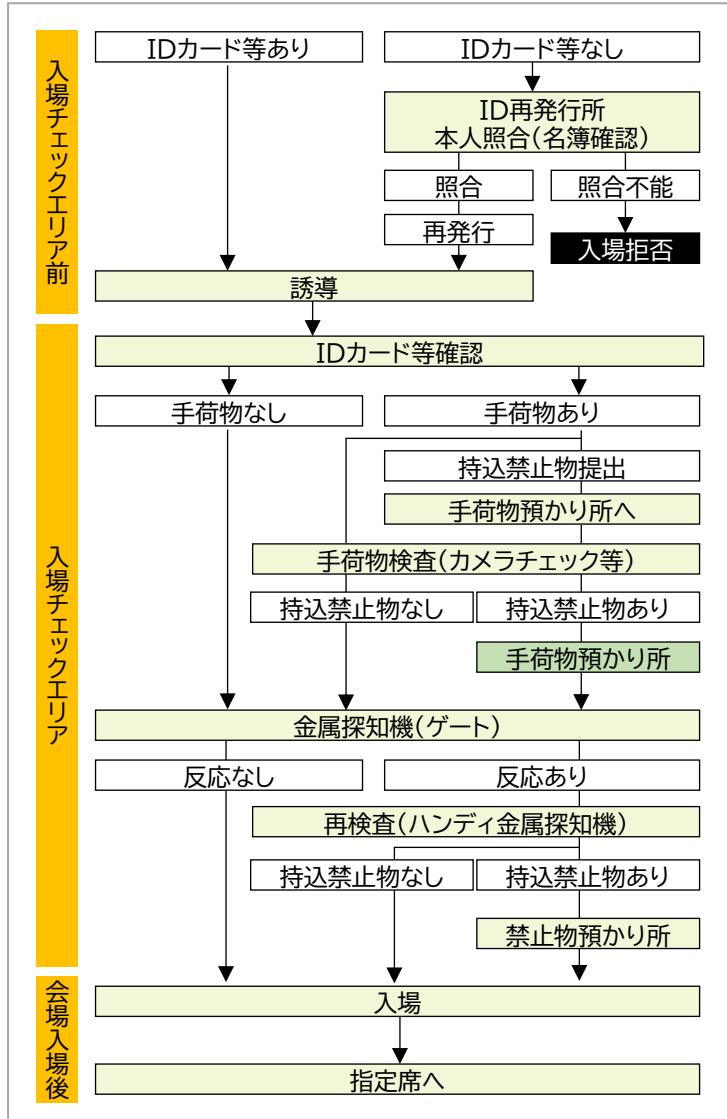
■ 業務内容

実施期間	目的	対策
警備実施期間	施設・備品の保全	・式典会場において夜間警備を実施
警備重点期間	雑踏事故防止対策	・式典会場において警備員及び実施本部員を会場内の要所に配置 ・入場チェックエリアや招待者動線において、滞留が起こらないよう実施本部員等による誘導案内を実施
	交通警備	・式典会場及び植樹会場周辺の主要箇所に、警備員及び実施本部員を配置 ・全ての関係車両に大会関係車両証の提示を義務化
	式典中の自主警備	・実施本部員を式典会場内の招待者席付近に配置 ・事案発生時は警察と連携
	立入禁止区域の設定 侵入防止対策	・式典会場内の本部エリア等を立入禁止区域に設定 ・実施本部員等の配置・誘導、ローピング・サイン等により侵入防止対策を実施

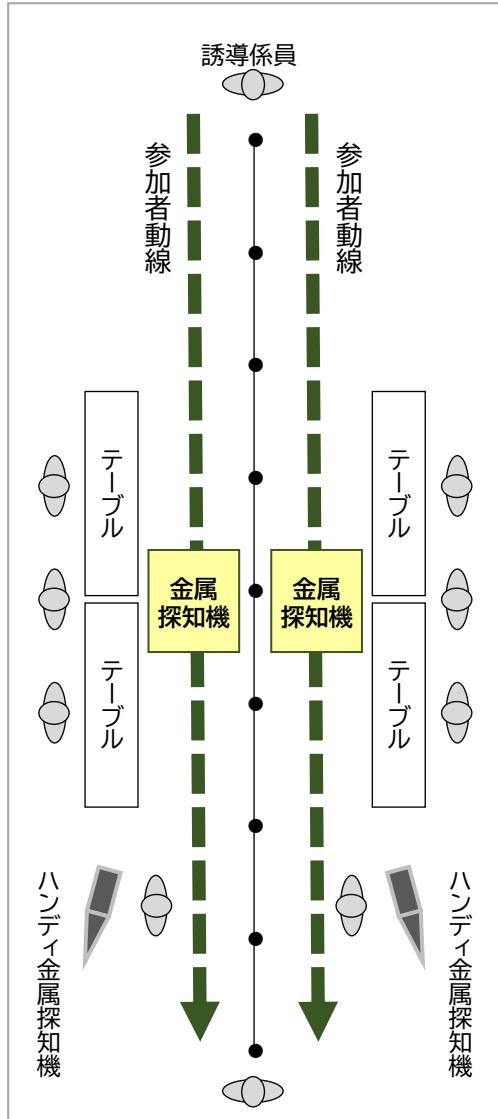
(4) 入場チェック

- ・大会当日に会場へ入場する者は、あらかじめ指定されたIDカード等の着用を義務付けます。
- ・参加者の手荷物は、指定された透明袋に入れての持ち込みを原則とします。
- ・凶器として使用されるおそれのある物品等は、持ち込みを禁止します。

■ 入場管理の流れ



■ 金属探知機周辺図



11. 雨天時・強風時対応計画

- (1)雨や風の状況に対応した式典スケジュールを策定するなど、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるよう準備します。
- (2)式典の演出は、各出演団体等と協議の上、天候に応じた内容に変更します。
- (3)式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- (4)警備上、会場には傘の持ち込みができないため、事前に雨合羽を配付します。

■ 雨天・強風時対策

項目	雨天・強風時運営対策要領
服装	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の注意・禁止事項を事前に招待者へ案内 ・大会用品として事前配付する識別が透けて見える雨合羽を着用 ・履き慣れた滑りにくい靴での来場を推奨
バス乗降 案内誘導 等	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗降場所は晴天時と同様 ・誘導時に使用する案内プラカードは、雨天時にも使用可能なものを使用
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・火気を使用する喫煙所の巡回を強化

12. サテライト会場計画

- (1) 招待者のみならず、多くの県民に大会を身近に感じていただくため、県実行委員会直営の「えひめ森林公園」のほか、今治市、松山市、鬼北町及び松野町が各市町の特色を生かしたサテライト会場を設置し、式典映像の中継やワークショップ、各種ブースを出展します。
- (2) 地域や家庭で植樹してもらうため、来場者の方々に苗木を無料で配布します。

えひめ森林公園(伊予市)

遊歩道やキャンプ場等を備えた緑豊かな森林公園。市街地を見渡せる「結のブランコ」等フォトスポットも充実。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・森の音楽会 ・結のブランコ撮影会
- ・木工体験 ・植樹体験 等



イオンモール今治新都市(今治市)

県北東部に位置する今治市にある大型ショッピングモール。令和8年春に「しまなみ木のおもちゃ美術館」が開館予定。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木及び花苗の無料配布
- ・記念植樹 ・木工体験 ・木育体験ブース ・郷土芸能イベント
- ・令和7年今治市林野火災復旧復興ブース 等



大街道商店街(松山市)

県都松山市の中心部にある全蓋式アーケード商店街。数多くの店舗が並び、買い物客や観光客等でにぎわう。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・ステージイベント ・木工体験 等



鬼北総合公園(鬼北町)

県南西部に位置する鬼北町にある自然に囲まれた総合公園。体育館等のスポーツ施設も整っている。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・木育キャラバン ・2025ミス日本みどりの大天使による講演 等



松野町役場(松野町)

県南西部に位置する松野町の役場庁舎。シンボル柱の大径磨き丸太のほか、構造材や内装材に木材を使用。

【実施予定内容】

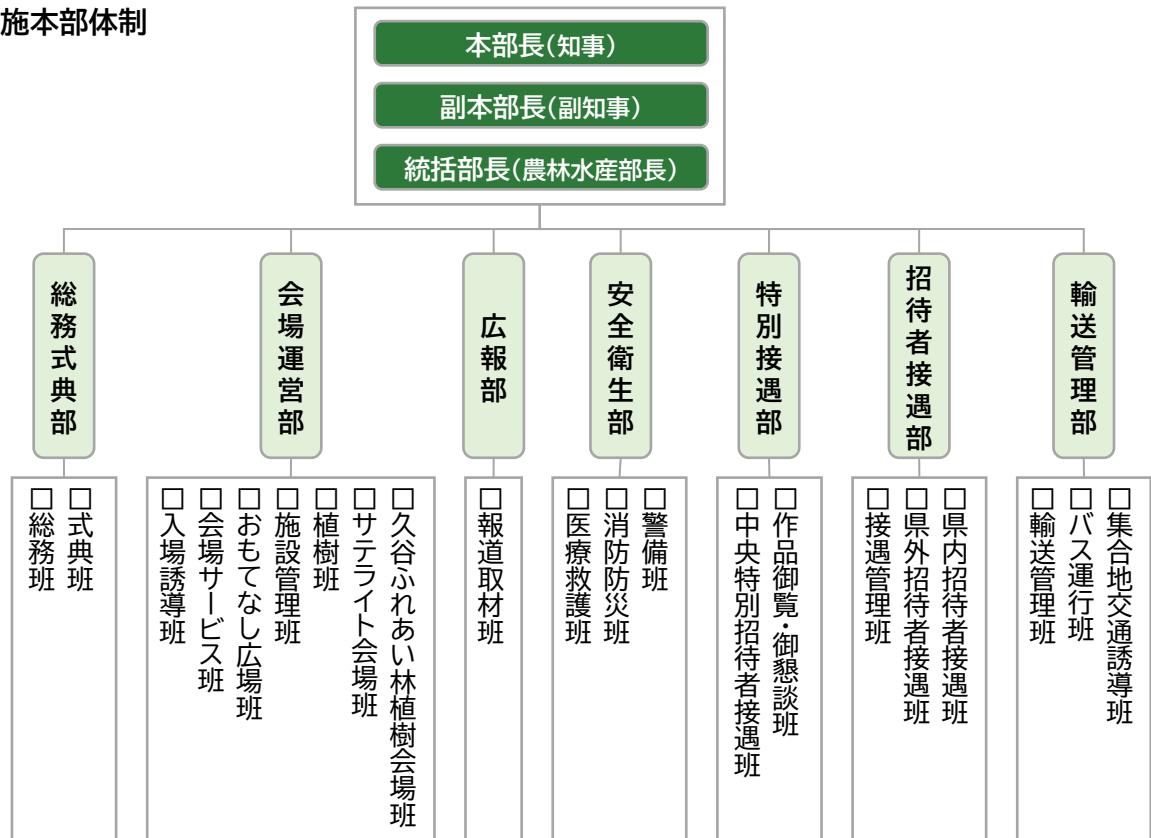
- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・木工教室 ・林業機械実演展示 等



13. 実施本部計画

- (1)円滑な運営を図るため、「第76回全国植樹祭えひめ2026実施本部」を設置しました。
- (2)県職員や市町職員等の協力を得て効率的な要員の配置を行うとともに、運営の円滑化及び招待者の安全性や快適性の確保に努めます。

■ 実施本部体制



14. 研修・リハーサル計画

- (1)円滑な運営に向けて、実施本部員や出演者を対象とした研修・リハーサルを実施します。
- (2)効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に各班の運営マニュアルを作成し、配付します。
- (3)下記のスケジュールに基づき、全員が業務の内容を把握できるようにします。

■ 研修・リハーサルスケジュール

区分	時期	場所	参加者	内容
① 式典合同研修会	令和8年 2月23日(月・祝)	県内施設	出演者(式典アシスタント、介添者等)	大会概要・参加内容説明
② 式典リハーサル	令和8年 4月11日(土)	式典会場	実施本部員 出演者(式典アシスタント、介添者等)	式典行事のリハーサル
③ 総合リハーサル	令和8年 4月25日(土)	式典会場 植樹会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導等
④ 荒天時会場説明会	令和8年 4月28日(火)	荒天時会場	実施本部員	会場確認及び説明
⑤ 前日リハーサル	令和8年 5月16日(土)	式典会場 植樹会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導等

※ 必要に応じて、個別リハーサルを実施します。

1. 基本的な考え方

宿泊・輸送は、次の事項を基本として実施します。

- (1)大会前日、宿泊を要する招待者は、県実行委員会が指定する県内の施設に宿泊することを原則とします。
- (2)大会当日は、原則、指定宿泊施設や指定集合地から県実行委員会が手配する計画輸送バス等により式典会場等に移動することとします。
- (3)指定宿泊施設等の収容人数、宿泊料金、道路状況及び送迎体制を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整備します。
- (4)招待者等を安全で円滑に輸送するため、運行ルート、輸送スケジュール、必要な交通規制等について、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整備します。
- (5)会場へのアクセス道路沿線は、関係市町や県民と協力しながら、美化に努め、招待者を歓迎します。

2. 宿泊計画

- (1)式典行事のスケジュールや道路状況等を総合的に勘案し、適切な宿泊地域を選定します。
- (2)安全に計画輸送バスの乗降ができる場所を確保できる宿泊施設を選定します。
- (3)指定宿泊施設内のフロントやロビー等に専用デスクを設置し、招待者に大会用品(大会プログラム、IDカード、帽子等)等を円滑かつ確実に配付できる体制を整備します。
- (4)指定宿泊施設は、消防法や食品衛生法等の関係法令に基づく基準を満たすことはもとより、緊急時に搬送できる救急病院や対応者、施設内のAED(自動体外式除細動器)の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。



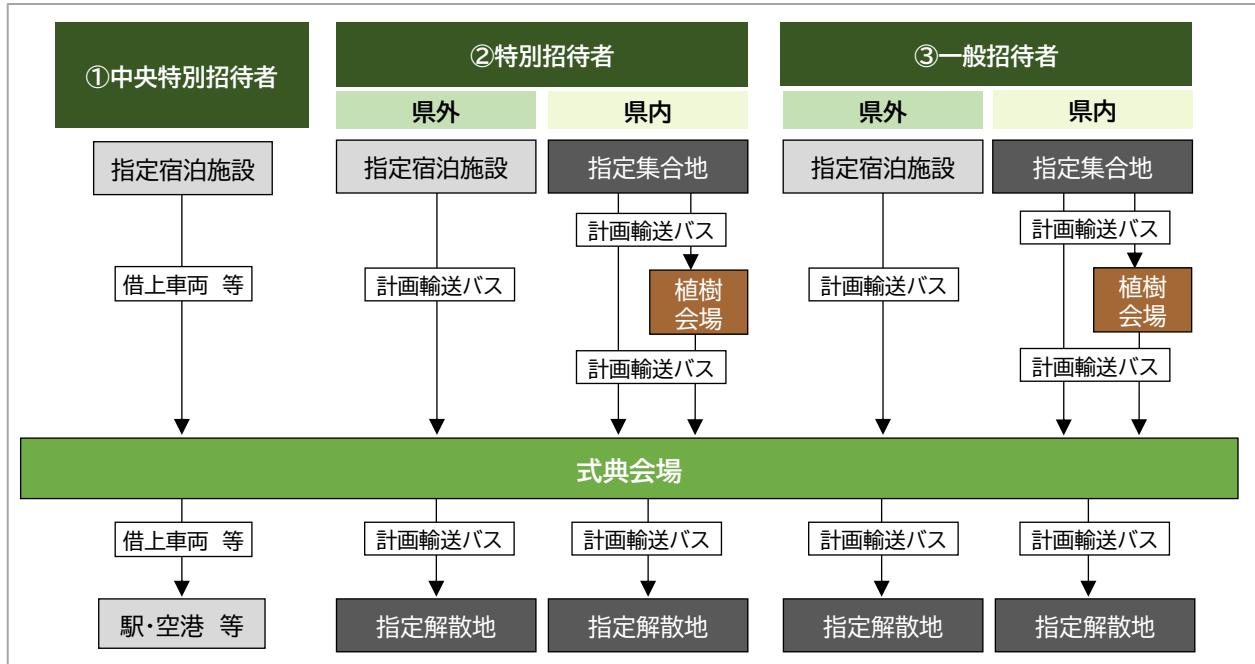
指定宿泊施設の専用デスクの様子(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

3. 輸送計画

(1)輸送方針

- ・招待者はバスで移動することを原則とし、招待者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ・バス事業者や関係機関と協議・検討の上、大会当日の道路状況等のリスクを想定し、招待者を安全で円滑に輸送する運行ルートを決定します。
- ・交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

■ 輸送フロー



(2) 関係車両一覧

招待者区分	輸送手段	同乗者
①中央特別招待者	借上車両 等	接伴員(出迎え・添乗・誘導・見送り)
②特別招待者	計画輸送バス	添乗員(各種案内・誘導)
③一般招待者	計画輸送バス	

(3) 駐車場計画

駐車場は、道路状況等を考慮し、式典会場の近隣地において選定し、確保します。

4. 運行管理体制

- (1) 輸送管理本部を式典会場周辺に設置し、運行状況を一元的に管理します。
- (2) 車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、運行ルート上に休憩箇所及びチェックポイントを設けて確実な運行管理を行うとともに、班員を配置します。

5. 道路交通対策

- (1) 会場周辺の道路や招待者の運行ルートにあたる道路は、事前に道路管理者と協議の上、道路占用許可等の必要な措置を講じます。
- (2) 招待者、周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

1. 基本的な考え方

荒天時の式典は、次の事項を基本として実施します。

- (1)暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天時会場で式典を行います。
- (2)適宜情報収集に努め、式典会場での実施の可否を判断します。
- (3)荒天時会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 荒天時会場

会場名	所在地
愛媛県武道館	松山市



愛媛県武道館は、県産材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品等の県産品をふんだんに用いた施設で、平成20(2008)年に開催した第32回全国育樹祭の会場にもなりました。

3. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員等を含め、1,500人程度の規模で開催します。

招待者区分		内 容	人 数
①中央特別招待者		国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長、愛媛県知事、愛媛県議会議長、奈良県知事、奈良県議会議長 等	30 人
②特別招待者	県外	県選出国会議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者 等	220 人
	県内	県議会議員、市町長、緑化功労者、県実行委員会委員 等	200 人
③一般招待者	県外	各都道府県森林・林業関係者 等	900 人
小計			1,350 人
④実施本部員 等		実施本部員、出演者 等	150 人
合計			1,500 人

4. 荒天時運営計画

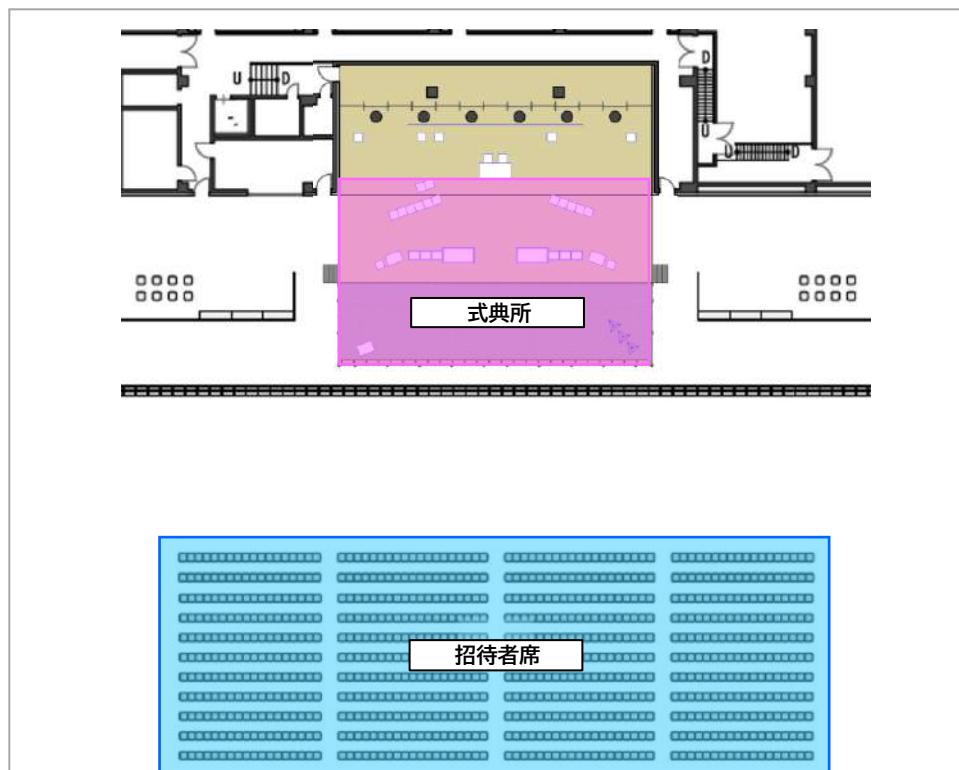
(1)式典計画

式典の構成は「記念式典」のみとし、代表者記念植樹やメインアトラクションを除いたものとします。

(2)式典スケジュール

時 間	区 分	項目
	開 場	招待者入場 / 国務大臣、愛媛県知事、奈良県知事、開催市長等 着席
50分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席 開会のことば 三旗儀礼 主催者あいさつ 天皇陛下のおことば 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下によるお手植え・お手書き 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下 御退席
	閉 場	招待者退場

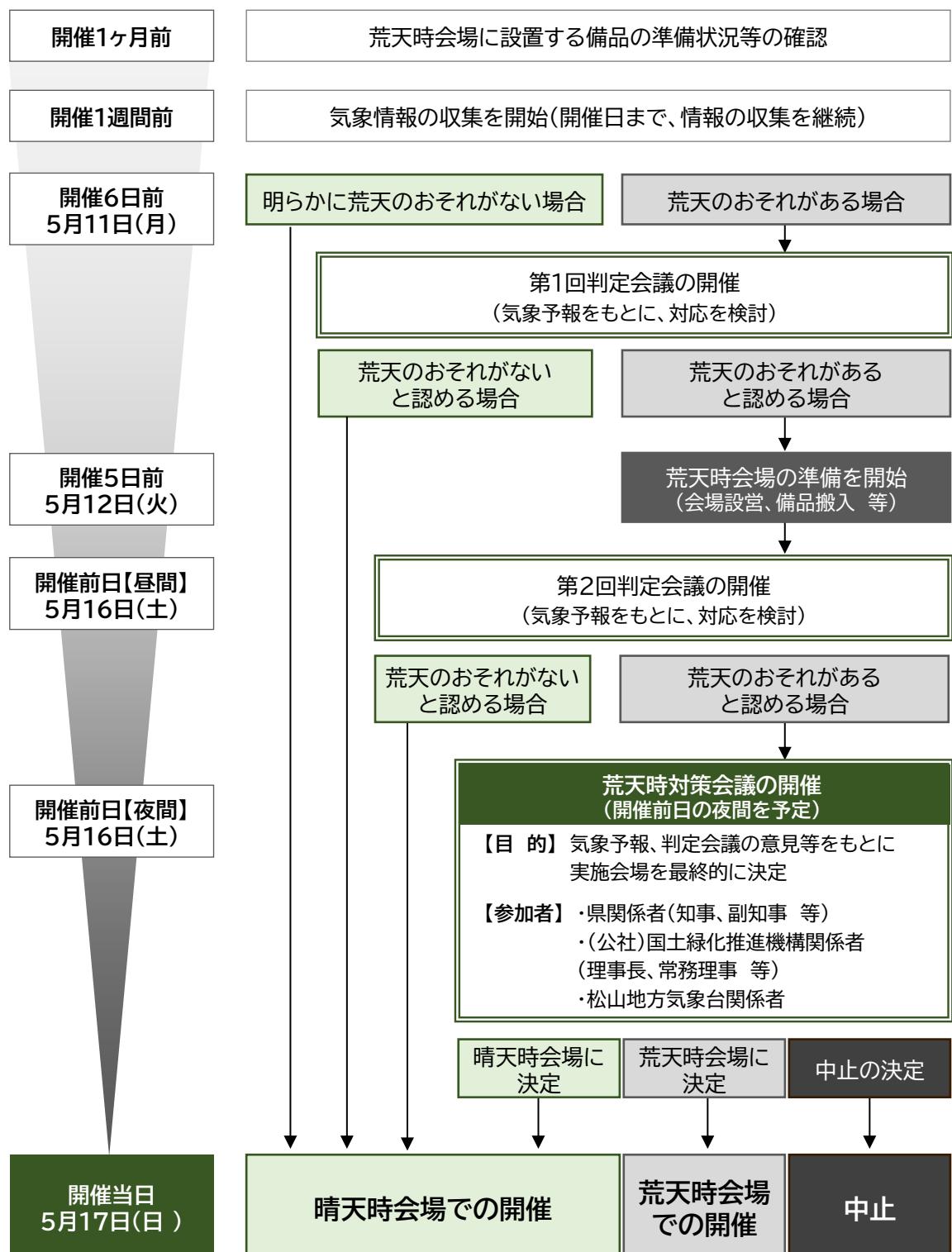
(3)会場図



(4)判定会議

- ・大会開催の可否について判断する会議(以下「判定会議」という。)を、必要に応じて設置します。
- ・判定会議のメンバーや召集方法、大会の中止・変更の判断基準と対応について、ガイドラインを策定します。

(5)対応フロー



※天候の急変等により、変更する場合があります。

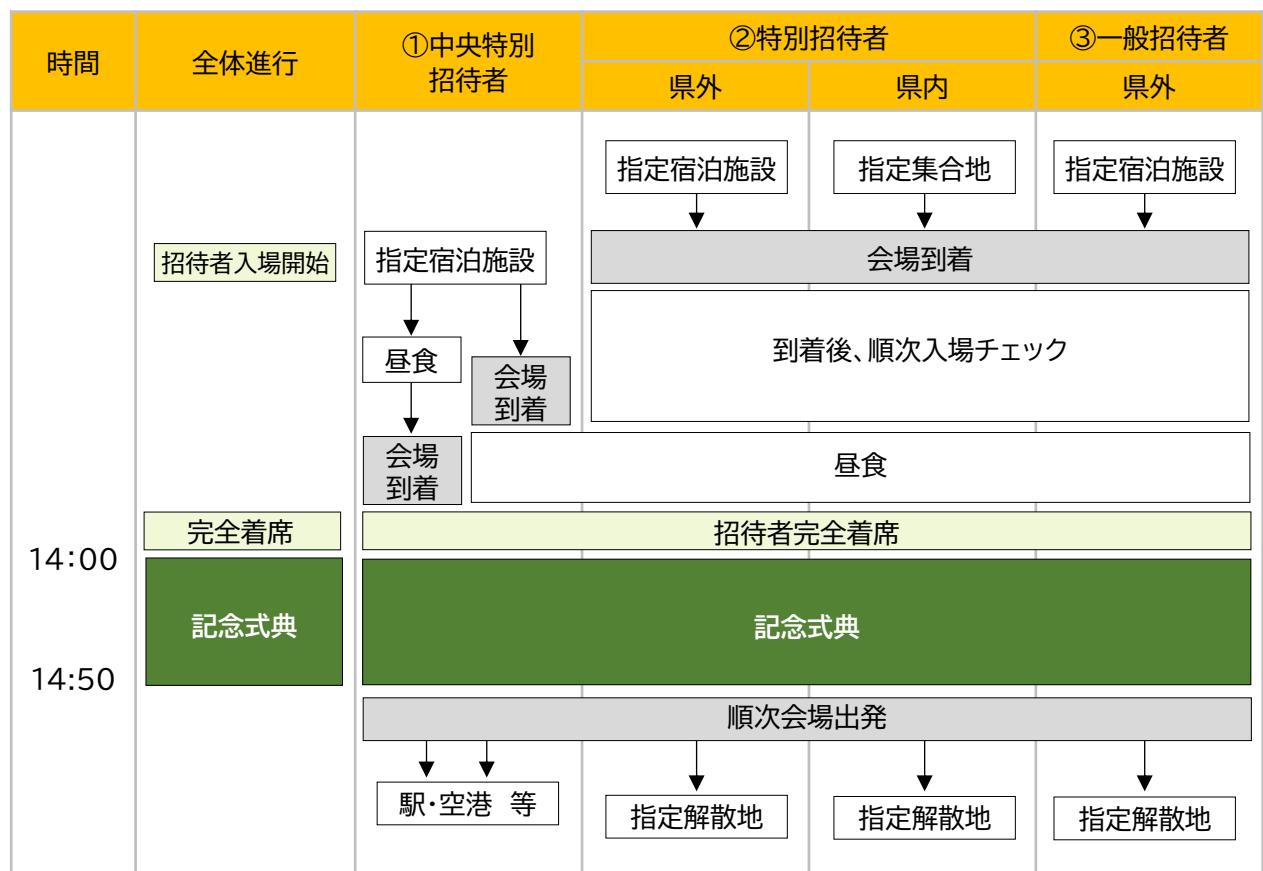
(6)招待者への対応

荒天時会場での開催が決定した際には、公式ホームページやSNS等を活用して、速やかに広報します。

荒天時会場となった場合に不参加となる招待者に対しては、その旨を案内状等に明記します。

招待者区分		荒天時対応			
①中央特別招待者		出発時間を変更のうえ、晴天時同様、借上車両等にて移動			
②特別招待者	県外	参加	出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動		
	県内		出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動		
③一般招待者	県外	不参加	出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動		
	県内		公式ホームページやSNS等を活用して、荒天時会場での開催が決定した旨を伝達		

(7)招待者行動スケジュール



※スケジュールは変更となる場合があります。

1. 基本的な考え方

大会の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民に広く啓発するため、記念・関連事業を実施します。

2. 記念事業

(1) 第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」

大会の開催1年前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年開催している「県植樹祭」にあわせて、記念イベントを開催しました。

【開催日】令和7年6月22日(日)

【開催地】国立大洲青少年交流の家(大洲市)

【内 容】式典、大会テーマソングの発表、ぐるっと植樹祭えひめ出発式、協賛企業ブース出展 等



(2) 第76回全国植樹祭 200日前記念「えひめ山の日の集い」

大会の開催200日前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年開催している「えひめ山の日の集い」にあわせて、記念イベントを開催しました。

【開催日】令和7年10月25日(土)

【開催地】エミフルMASAKI(松前町)・えひめ森林公园(伊予市)

【内 容】カウントダウンボードのお披露目、苗木のスクールステイ参加校生徒からの愛レター 等



第76回全国植樹祭 200日前記念「えひめ山の日の集い」での様子

(3) 第76回全国植樹祭100日前記念イベント(まつやま農林水産まつりとの併催)

大会の開催100日前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年松山市が開催している「まつやま農林水産まつり」にあわせて、記念イベントを開催します。

【開催日】令和8年2月15日(日)

【開催地】大街道商店街(松山市)

【内 容】ぐるっと植樹祭えひめ引渡式、式典音楽隊参加校による合唱 等

(4)ぐるつto植樹祭えひめ(「木製地球儀」の市町巡回展示・巡回植樹)

大会の開催機運を醸成するため、大会のシンボルである「木製地球儀」を県内20市町で巡回展示するとともに、市町長による記念植樹を実施します。

令和7年6月22日に、大洲市(第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」)で出発式を行い、最終巡回地である松山市において、令和8年2月27日に展示終了予定です。



大洲市(第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」)での出発式の様子

(5)苗木のスクールステイ

緑の大切さと森づくりへの関心を高めるため、大会やイベントで植樹する苗木を、県内の小中学校及び高等学校の児童・生徒の協力により育成します。

(6)お手播き種子採取・第76回全国植樹祭プレ植樹

大会の開催に向け、子どもたちに森林の大切さを知ってもらい、大会への参加意識を高めるため、緑の少年団愛媛県連盟が主催する「緑の少年団交流集会」において、お手播き種子の採取やプレ植樹を実施しました。

【開催日】令和7年9月27日(土)

【開催地】えひめ森林公園(伊予市)

【内 容】皇后陛下がお手播きになる「イロハモミジ」の種子の採取、

令和6年度に児童・生徒が「苗木のスクールステイ」で育成したクヌギ苗木の植樹

(7)第76回全国植樹祭メモリアル植樹（再掲）

大会後の令和8年秋頃に、久谷ふれあい林において、天皇皇后両陛下のお手植え木の他、ぐるつto植樹祭えひめでの植樹木や大阪・関西万博「住友館」の植林体験で使用されたヒノキ苗木等を定植します。

(8)記録誌・記録映像

式典行事や植樹行事をはじめ、各種記念事業等の取組を、記録誌及び記録映像にまとめ、関係機関に配付します。

3. 関連事業

(1)第2回こどもの森づくりフォーラム in えひめ

大会の開催を契機に、保育所・幼稚園等における幼児期からみどりに親しむ取組の普及、促進等を図るため、林野庁や(公社)国土緑化推進機構等と共同して、保育・幼児教育関係者等を対象にフォーラム及びサイドイベントを開催しました。

(2)第54回全国林業後継者大会 愛媛2026

全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信することを目的に大会前日、久万高原町産業文化会館(久万高原町)で開催します。

1. 基本的な考え方

広報・協賛は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 広報宣伝や協賛募集の活動を通じて、大会の開催意義、開催理念及び内容や大会に向けた様々な取組等について広くPRするなど、開催への機運を高めていきます。
- (2) 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- (3) 大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画及び大会テーマソングを活用し、大会の開催を県内外に広報します。

2. 広報計画

あした もり らぶ (1) 明日の森林へ贈る愛レタープロジェクトの実施

広く県民から森林への想い等を綴ったメッセージを募り、それを大会テーマソングや式典演出等あらゆる場面に活用する県民参加型プロジェクトを実施します。



キックオフイベント



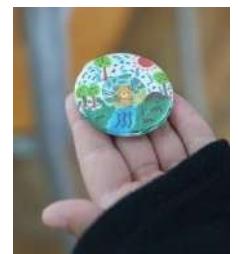
イベントでのメッセージ募集の様子



路面電車の内装への活用

(2) おうちde植樹祭えひめ(各種イベントへのPRブースの出展)の実施

県内各地のイベントにおいて、大会をPRするブースを出展し、来場された方に苗木を配布します。持ち帰っていただいた苗木は自宅等で植樹いただきます。



実際の様子

(3) みんなde植樹祭えひめ(第76回全国植樹祭応援事業)の実施

県内の企業や団体等が自主運営する森林・林業等に関連するイベントを応援事業として認定し、呼称使用等により大会の周知と機運の醸成を図ります。

(4) インターネット・SNSの活用

公式ホームページやSNSを開設し、様々な取組や関連イベント等に関する情報を積極的に発信します。

(5) 公共広報等の活用

県及び各市町の広報誌や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かな情報提供とPR活動を実施します。

(6) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関との連携を深めるとともに、大会や関連事業等に関する情報が広く発信されるよう、情報提供します。

(7) 第76回全国植樹祭広報誌・PRマンガの発行

広報誌「みきゃんからの愛レター」・PRマンガを発行し、大会に向けた取組状況や県民参加の森づくり活動等に関する情報を発信します。



創刊号



第2号



第3号

(8) PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成し、おうちde植樹祭えひめ等で配布することで大会の周知と機運の醸成を図ります。



クリアファイル



アームバッグ



スマホスタンド

ピンバッジ

マグネット

しおり

ステッカー

ウェットティッシュ

シール

缶バッジ



木製コースター

木製目印チャーム

木製マグネット



エコバッグ



シール

マスキングテープ

付箋メモ

3. 協賛計画

大会の趣旨に賛同する団体や企業等と協働・連携した開催とするため、県内外から幅広い協力を得る仕組みとして、協賛制度を創設しました。

協賛企業等には、式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載するなど、様々な特典を提供します。

(1) 資金協賛

大会や各種記念行事等の開催に関わる資金協力

(2) 物品協賛

大会や各種記念行事等の開催に関わる物品協力

(3) その他の協賛

役務提供や広告活動等の協力



第76回全国植樹祭 実施計画 令和8年●月

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会事務局
(愛媛県農林水産部森林局全国植樹祭推進課内)

〒790-0002 愛媛県松山市二番町三丁目6-5
電話番号:089-961-1134 ファクス番号:089-961-1145
公式ホームページ:<https://www.syokujusai-ehime2026.jp/>
又は「第76回全国植樹祭」で検索してください



第 76 回全国植樹祭愛媛県実行委員会（総会）の開催スケジュールについて

実行委員会（総会）の開催スケジュール（案）

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【第1回総会】 (設立総会) 令和5年8月25日	1 実行委員会の設立について 2 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会の設置及び付託事項（案）について
【第2回総会】 令和6年3月19日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会の設置及び付託事項（案）について 4 基本計画（素案）について 等
【第3回総会】 令和6年7月16日 (書面開催)	1 令和5年度収支決算（案）について 2 企業等協賛の募集について 3 基本計画（中間案）について 等
【第4回総会】 令和7年1月15日	1 令和6年度の取組状況について 2 基本計画（最終案）について 等 →国土緑化推進機構特別委員会で <u>基本計画の承認・決定</u> ※ 表彰式（大会テーマ・シンボルマーク）の実施
【第5回総会】 令和7年3月19日 (書面開催)	1 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 等
【第6回総会】 令和7年7月23日 (書面開催)	1 令和6年度事業報告について 2 実施計画（素案）について 3 令和6年度収支決算（案）について 4 令和7年度収支補正予算（案）について 等
【第7回総会】 令和8年1月23日	1 令和7年度の取組状況について 2 実施計画（最終案）について 等 →国土緑化推進機構特別委員会で <u>実施計画の承認・決定（予定）</u>
【第8回総会】 令和8年3月頃 (書面開催)	1 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
令和8年5月17日	第 76 回全国植樹祭 開催
令和8年秋	第 76 回全国植樹祭メモリアル植樹 実施
【第9回総会】 令和9年3月頃	1 令和7年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 2 令和8年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 3 実行委員会の解散について

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第76回全国植樹祭（以下「全国植樹祭」という。）の開催に必要な事業を行い、県民の緑化意識の醸成及び県民参加による森づくりを推進するとともに、森林が育む愛媛県の自然、文化及び産業を全国に発信することを目的とする。

(事務所)

第3条 実行委員会の事務所は、愛媛県松山市二番町三丁目6－5明治安田生命松山二番町ビル内に置く。

(事業)

第4条 実行委員会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 全国植樹祭の運営に必要な企画及び調整に関すること。
- (2) 関係する機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- (3) 全国植樹祭の式典行事、植樹行事及びこれらに係る整備に関すること。
- (4) 全国植樹祭の招待者等への案内、宿泊、輸送等に関すること。
- (5) 全国植樹祭に係る広報、協賛及び各種募集に関すること。
- (6) その他全国植樹祭の目的を達成するために必要な事業に関すること。

第2章 組織

(構成)

第5条 実行委員会は、委員、監事及び参与（以下「委員等」という。）をもって組織する。

- 2 委員等は、関係機関、関係団体、学識経験者等で組織し、別表第1に掲げる役職にある者をもって充てる。
- 3 実行委員会は、委員のうちから会長及び副会長を置く。
- 4 会長は、愛媛県知事をもって充てる。
- 5 副会長は、愛媛県副知事及び愛媛県議会議長をもって充てる。

(委員等の職務)

第6条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき及び会長が特定の行為につき委任したときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。
- 3 委員は、この会則に従い議事の審議を行う。
- 4 監事は、会計の監査に当たる。
- 5 参与は、全国植樹祭の具体的な運営方法に関し、助言することができる。

(委員等の任期)

第7条 委員等の任期は、第18条の規定により実行委員会が解散する日までとする。

- 2 委員等は、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体の役職を離れたときは、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。ただし、学識経験者はこの限りでない。
- 3 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

(委員等の報酬及び旅費)

第8条 委員等への報酬及び旅費については支給しないものとする。ただし、会長が必要と認めた場合はこの限りでない。

- 2 前項ただし書の規定により報酬及び旅費を支給する場合は、愛媛県職員の例による。

第3章 会議

(会議の種類)

第9条 実行委員会に係る会議は、総会、幹事会及び専門委員会とする。

(総会)

第10条 総会は、会長、副会長及び委員（以下「実行委員」という。）並びに参与及び監事をもって構成する。

- 2 総会は、会長が招集し、その議長となる。
- 3 総会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。
 - (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (2) 全国植樹祭の企画及び運営の基本的事項に関すること。
 - (3) 事業計画、予算及び決算に関すること。
 - (4) 幹事会に委任する事項に関すること。
 - (5) 専門委員会に付託する事項に関すること。
 - (6) その他全国植樹祭の開催に関して重要な事項に関すること。

- 4 総会は、実行委員の過半数の出席がなければ開会することができない。
- 5 総会の議事は、出席した実行委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 6 総会に出席できない実行委員は、あらかじめ通知された事項について代理人にその権限を委任し、又は書面をもって議決に加わることができる。この場合において、前2項の規定の適用については、出席した実行委員とみなす。
- 7 会長が必要と認める場合は、書面をもって表決し、総会の議決に代えることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、総会に委員等以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(会長の専決処分)

- 第11条 会長は、緊急を要し総会を招集することができないと認められる場合は、前条第3項各号に掲げる事項について専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、次の総会にこれを報告しなければならない。

(幹事会)

- 第12条 実行委員会に幹事会を置く。
- 2 幹事会は、幹事長、幹事（以下「幹事等」という。）をもって組織する。
 - 3 幹事等は、関係機関及び関係団体等で構成し、別表第2に掲げる役職にある者をもって充てる。
 - 4 幹事長は、愛媛県農林水産部森林局長をもって充てる。
 - 5 幹事会の会議は、幹事長が招集し、その議長となる。
 - 6 幹事長に事故あるときは、あらかじめ幹事長が指名した者が、その職務を代理する。
 - 7 第7条及び第8条の規定は、幹事会において準用する。この場合において、「委員等」とあるのは「幹事等」と読み替えるものとする。
 - 8 幹事会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。
 - (1) 総会に付議すべき事項に関すること。
 - (2) 総会から委任された事項に関すること。
 - (3) 緊急に審議し、決定することが必要な事項に関すること。
 - (4) 第10条第3項各号に掲げる事項以外で、全国植樹祭の実施について必要な事項に関すること。
 - (5) その他会長が必要と認める事項に関すること。
 - 9 幹事会は、前項第1号から第3号まで及び第5号に掲げる事項を審議し、決定したときは、次の総会にこれを報告しなければならない。
 - 10 第10条第4項から第7項までの規定は、幹事会の会議において準用する。こ

の場合において「総会」とあるのは「幹事会」に、「実行委員」とあるのは「幹事等」に、「会長」とあるのは「幹事長」にそれぞれ読み替えるものとする。

11 前各項に定めるもののほか、幹事会に必要な事項は、会長が別に定める。

(専門委員会)

第13条 実行委員会に専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会は、専門委員長及び専門委員（以下「専門委員等」という。）をもって組織する。
- 3 専門委員等は、関係機関、関係団体、学識経験者等で構成し、会長が委嘱する。
- 4 専門委員等の任期は、会長が定める。
- 5 専門委員会は、専門委員長が招集し、その議長となる。
- 6 専門委員会は、総会から付託された専門的事項について調査及び審議する。
- 7 専門委員会は、前項に掲げる事項について会長に報告する。
- 8 前各項に定めるもののほか、専門委員会に必要な事項は、会長が別に定める。

第4章 事務局

第14条 実行委員会の事務を処理するために、第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会事務局（以下「事務局」という。）を愛媛県農林水産部内に置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第5章 経費及び会計

(経費)

第15条 実行委員会の事業に必要な経費は、負担金、協賛金及びその他の収入をもって充てる。

(事業計画、予算及び決算)

第16条 実行委員会の事業計画及び収支予算は事務局長が編成し、総会の承認を得なければならない。

- 2 実行委員会の収支決算は事務局長が作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定めるものほか、愛媛

県の例による。

第6章 解散

第18条 実行委員会は、第2条の目的が達成されたときには、総会の議決をもって解散するものとする。

2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、愛媛県に帰属するものとする。

第7章 補則

第19条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この会則は、令和5年8月25日から施行する。

2 実行委員会設立当初の会計年度は、第17条第1項の規定にかかわらず、実行委員会の設立の日から令和6年3月31日までとする。

3 会長がやむを得ず必要と認めた経費については、実行委員会による予算の議決前に支出できるものとする。この場合において、当該支出した経費は収支予算案に含めるものとする。

附 則

この会則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、令和6年6月13日から施行する。

附 則

この会則は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1（第5条関係） 実行委員会

職名	区分	所属	役職
会長	県	愛媛県	知事
副会長	県	愛媛県	副知事
	県議会	愛媛県議会	議長
委員	国	林野庁四国森林管理局	局長
		環境省中国四国地方環境事務所	所長
		国土交通省四国地方整備局	局長
	県議会	愛媛県議会農林水産委員会	委員長
	市町	愛媛県市長会	会長
		愛媛県町村会	会長
		松山市	市長
		砥部町	町長
	市町議会	愛媛県市議会議長会	会長
		愛媛県町村議会議長会	会長
学識経験者	愛媛大学	副学長	
	松山大学	准教授	
	森林・林業	公益財団法人愛媛の森林基金	理事長
		愛媛県森林組合連合会	代表理事長
		一般社団法人愛媛県木材協会	会長
		愛媛県山林種苗農業協同組合	代表理事組合長
		愛媛県林業研究グループ連絡協議会	会長
		愛媛県森林土木協会	会長
		公益財団法人えひめ農林漁業振興機構	理事長
		えひめ森林ボランティア連絡協議会	会長
		緑の少年団愛媛県連盟	会長
		愛媛県林業経営者協会	会長
農業・漁業	愛媛県農業協同組合中央会	代表理事長	
	愛媛県漁業協同組合	代表理事組合長	
経済	愛媛県商工会議所連合会	会頭	
	愛媛県商工会連合会	会長	
	愛媛県中小企業団体中央会	会長	
	愛媛経済同友会	代表幹事	
	愛媛県経営者協会	会長	
宿泊・観光	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	
	愛媛ホテル協会	会長	
	一般社団法人愛媛県観光物産協会	会長	
	一般社団法人愛媛県旅行業協会	会長	
輸送	一般社団法人愛媛県バス協会	会長	
	四国旅客鉄道株式会社	愛媛企画部長	

		伊予鉄道株式会社	代表取締役社長
		一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会	会長
		一般社団法人愛媛県トラック協会	会長
建設・建築		一般社団法人愛媛県建設業協会	会長
		公益社団法人愛媛県建築士会	会長
		一般社団法人愛媛県建築士事務所協会	会長
		一般社団法人愛媛県中小建築業協会	会長
教育		愛媛県小中学校長会	会長
		愛媛県高等学校校長協会	会長
		愛媛県私立中学高等学校連合会	会長
		愛媛県特別支援学校校長会	会長
青少年		日本ボーイスカウト愛媛県連盟	連盟長
		ガールスカウト愛媛県連盟	連盟長
文化		愛媛県文化協会	会長
福祉・女性		愛媛県社会福祉協議会	会長
		愛媛県連合婦人会	会長
県		愛媛県	教育長
		愛媛県	公営企業管理者
		愛媛県	参与
		愛媛県	営業本部長
		愛媛県	防災安全統括部長
		愛媛県	人口減少対策統括部長
		愛媛県	総務部長
		愛媛県	企画振興部長
		愛媛県	観光スポーツ文化部長
		愛媛県	県民環境部長
		愛媛県	保健福祉部長
		愛媛県	経済労働部長
		愛媛県	農林水産部長
		愛媛県	土木部長
		愛媛県警察本部	本部長
監事	県	愛媛県	会計管理者兼出納局長
	市町	松山市	会計管理者
参与	報道	株式会社愛媛新聞社	代表取締役会長
		日本放送協会	松山放送局長
		南海放送株式会社	代表取締役社長
		株式会社テレビ愛媛	代表取締役社長
		一般社団法人共同通信社	松山支局長
		株式会社時事通信社	松山支局長
		株式会社朝日新聞社	松山総局長

	株式会社毎日新聞社	松山支局長
	株式会社読売新聞大阪本社	松山支局長
	株式会社日本経済新聞社	松山支局長
	株式会社産経新聞社	松山支局長
	株式会社あいテレビ	代表取締役社長
	株式会社愛媛朝日テレビ	代表取締役社長
	株式会社愛媛CATV	代表取締役社長
	株式会社エフエム愛媛	代表取締役社長

別表第2（第12条関係）幹事会

職名	区分	所属	役職
幹事長	県	愛媛県農林水産部森林局	局長
幹事	国	林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署	署長
	市町	愛媛県市長会	事務局長
		愛媛県町村会	事務局長
		松山市農林水産部	部長
		砥部町農林課	課長
	森林・林業	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長
		愛媛県森林組合連合会	代表理事専務
		一般社団法人愛媛県木材協会	専務理事
		愛媛県山林種苗農業協同組合	専務理事
	経済	愛媛県商工会議所連合会	専務理事
		愛媛県商工会連合会	専務理事
	観光	一般社団法人愛媛県観光物産協会	専務理事
	県	愛媛県企画振興部政策企画局秘書課	課長
		愛媛県企画振興部政策企画局広報広聴課	課長
		愛媛県観光スポーツ文化部観光交流局観光国際課	課長
		愛媛県農林水産部農政企画局農政課	課長
		愛媛県農林水産部森林局林業政策課	課長
		愛媛県農林水産部森林局森林整備課	課長
		愛媛県土木部道路都市局都市整備課	課長
		愛媛県教育委員会事務局管理部教育総務課	課長
		愛媛県警察本部警備部警衛対策課	課長